



MODUS

F02

取扱説明書

組み立て説明については巻末をご参照ください。

ヤマハデジタルピアノをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
この楽器のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってから
ご使用ください。また、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

冊子マニュアル



取扱説明書(本書)

この楽器の使い方を説明しています。

電子マニュアル(PDF)



コンピューターとつなぐ

この楽器とコンピューターを接続する方法を説明しています。



MIDIリファレンス

MIDIデータフォーマットやMIDIインプリメンテーションチャートが掲載されています。



MIDI入門

MIDIについての基本的な説明をしています。

電子マニュアルは、ヤマハ ダウンロードのウェブサイトからご覧いただけます。インターネットに接続して以下のウェブサイトを開き、「モデル名から検索」テキストボックスにモデル名「F02」を入力して「検索」をクリックします。

ヤマハ ダウンロード

<http://download.yamaha.com/jp/>

付属品(お確かめください)

- 保証書
- 取扱説明書(本書)
- 電源コード
- イス
- ユーザー登録のご案内^{*1}

*1 ユーザー登録の際に必要となるプロダクトIDが記載されています。

目次

取扱説明書について	2
付属品(お確かめください)	2
安全上のご注意	4
特長	9
各部の名称と機能	10
ご使用前の準備	12
キーパーと譜面立てについて	12
電源を入れる	13
ヘッドフォンを使う	13
ピアノとして演奏する	14
音量(ボリューム)調節	14
インテリジェント アコースティック コントロール (IAC)	14
ペダルを使う	15
メトロノームを使う	16
鍵盤のタッチ感度を設定する	17
音色を楽しむ	18
音色を選ぶ	18
音色デモ曲を聞く	18
音に残響をつける(リバーブ)	19
弦共鳴効果をつける(ストリングレゾナンス)	19
キー(調)を変える(トランスポーズ)	20
音の高さを微調整する(チューニング)	20
2つの音色を重ねる(デュアル)	21
鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く (スプリット)	22
BGM(ソング)を再生する	23
この楽器で再生できるソング	23
ソングを再生する	24
USBフラッシュメモリーのソングを 再生する場合の設定	25
演奏を録音する	26
録音する	26
録音した演奏を削除する	27
USBフラッシュメモリーを使う	28
USBフラッシュメモリーの取り扱いについて	28
楽器に録音したユーザーソングを USBフラッシュメモリーにコピーする	30
楽器に録音したユーザーソングを オーディオソングに変換する	31
他の機器と接続する	32
楽器の音を外部スピーカーから出す (AUX OUT [L/L+R][R]端子)	32
楽器本体のスピーカーから外部機器の音を出す (AUX IN [L/L+R][R]端子)	32
コンピューターと接続する ([USB TO HOST]端子)	33
外部MIDI機器と接続する (MIDI [IN][OUT]端子)	33
バックアップデータと初期化の方法	36
電源を切ったときに記憶される バックアップデータ	36
USBフラッシュメモリーにバックアップデータを 保存する	36
初期化の方法	36
付録	37
メッセージ一覧	37
困ったときは	38
ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲一覧	39
音色デモ曲一覧	40
音色一覧	41
組み立て方	42
仕様	44
索引	46
クイックオペレーションガイド	49
保証とアフターサービス	51

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



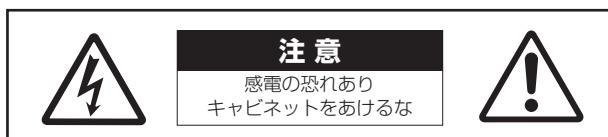
この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。」

⚠ 警告

電源 / 電源コード



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

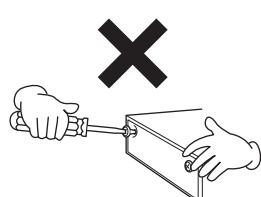
感電やショートのおそれがあります。

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

火に注意



本体の上にろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常ににおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源 / 電源コード



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

組み立て



本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。

手順どおりに正しく組み立てないと、楽器が破損したりお客様がけがをしたりする原因になります。

設置



不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



この製品を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行なう。

この製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、この製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。



演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



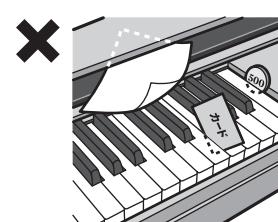
キーカバー や本体のすき間に手や指を入れない。また、キーカバーで指などをはさまないように注意する。

お客様がけがをするおそれがあります。



キーカバー やパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



本体の上にのったり重いものをせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりするおそれがあります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



イス



不安定な場所に置かない。
イスが転倒して、お客様やほかの方々がけがをする原因になります。



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



イスには二人以上ですわらない。
イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。



イスのネジを定期的に締め直す。

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



イスの脚で床やたたみを傷つけないよう注意する。

イスの下にマットを敷くなどして、床やたたみを保護されることをおすすめします。



小さなお子様の後方への転倒に注意する。
背もたれがないため、後方へ転倒してけがをすることがあります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

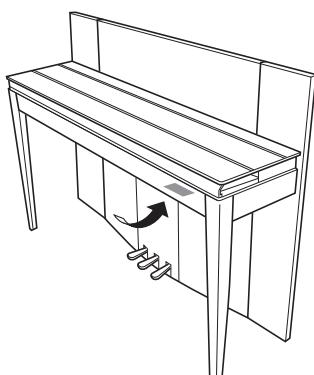
機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

銘板は、製品の底面にあります。



注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

製品の取り扱いに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、iPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- ・直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5°C~40°Cの範囲で動作することを確認しています)。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。
- ・本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てないでください。表面にひびが入ったり、はがれたりする原因になります。

本体やイスのお手入れ

この楽器をいつまでもきれいに保つため、下記のお手入れを定期的に行なうことをおすすめします。

- ・手入れするときは、乾いたガーゼやネルのような柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。鍵盤の頑固な汚れには「エレクトーン・クラビノーバ用鍵盤クリーナー」をお使いください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・本体のほこりや汚れは、乾いたガーゼやネルのような柔らかい布で軽くふき取ってください。強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。つやを保つためには、ユニコンをピアノクロスに含ませてムラなく拭き、別の布で伸ばすように磨き上げます。ユニコンは楽器店などでお買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。
- ・極端に温湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。
- ・ペダルは一般的なアコースティックピアノ同様経年変化によって変色することがあります。その際はピアノ用コンパウンドを楽器店などでお買い求めいただき、使用上の注意をよくご確認のうえご使用ください。

データの保存に関する注意

- ・保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USBフラッシュメモリーなどの外部機器に保存してください。
- ・保存したUSBフラッシュメモリーの万一の事故に備えて、大切なデータは予備のUSBフラッシュメモリーにバックアップとして保存されることをおすすめします。

お知らせ

データの著作権に関するお願い

- ・ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

調律について

調律の必要はありません。電源を入れるといつでも正しいピッチ(音の高さ)でお使いいただけます。

引っ越しの際の運搬方法

通常の荷物と一緒に運べます。組み立てた状態でも、組み立て前の部品に解体した状態でも問題ありませんが、本体は立てかけたりせず、必ず水平に置いてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。組み立てた状態でお運びいただいた場合は、設置の際、各部のネジのゆるみを確認し、ゆるんでいる場合は締め直してください。



特長

インテリア空間を彩るスタイリッシュなデザイン

ライフスタイルを彩るスタイリッシュな薄型のデザインです。黒鏡面艶出し仕上げで“ピアノらしさ”を残しつつ、後ろのパネルユニットは個性豊かな色彩でインテリアとしての美しさを表現しました。

グランドピアノに迫る表現力 「リアルグランドエクスプレッション(RGE)音源」

コンサートグランドピアノを演奏するような弾きごたえと表現力が楽しめる音源です。タッチの強弱にあわせて音色が変化するだけでなく、スタッカートで弾いたときには歯切れよく、ゆっくりと指を離したときには長く余韻を残すという音切れの違いまで再現できる「スムースリリース」を搭載。ピアノ演奏の本質を徹底的に追求し、グランドピアノらしい豊かな表現力を生んでいます。

自然な弾き心地を実現した 「ナチュラルウッド(NW)鍵盤象牙調仕上げ」 + 「リニアグレードハンマー」

アコースティックピアノの鍵盤と同様に白鍵の内側には木材を使用しています。また、象牙調仕上げ鍵盤は、象牙に近い適度な吸湿性があるので、指が滑りにくく、しなやかなタッチ感が得られます。温かい色合いも魅力です。さらに、すべての鍵盤のハンマーの重さが違う(低音部が重く、高音部は軽い)リニアグレードハンマーを採用していますので、グランドピアノのような重量感のある弾き心地が楽しめます。グランドピアノと同様にペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

シーンごとのBGMとしても利用できる50曲の内蔵曲

内蔵曲はクラシック30曲に加え、ジャズ20曲を搭載。さらに、友人をもてなすときや朝の目覚めのときなど、BGMとして利用できる曲リスト(シーン)を23シーン用意しており、気分に合わせて選択し再生することができます。

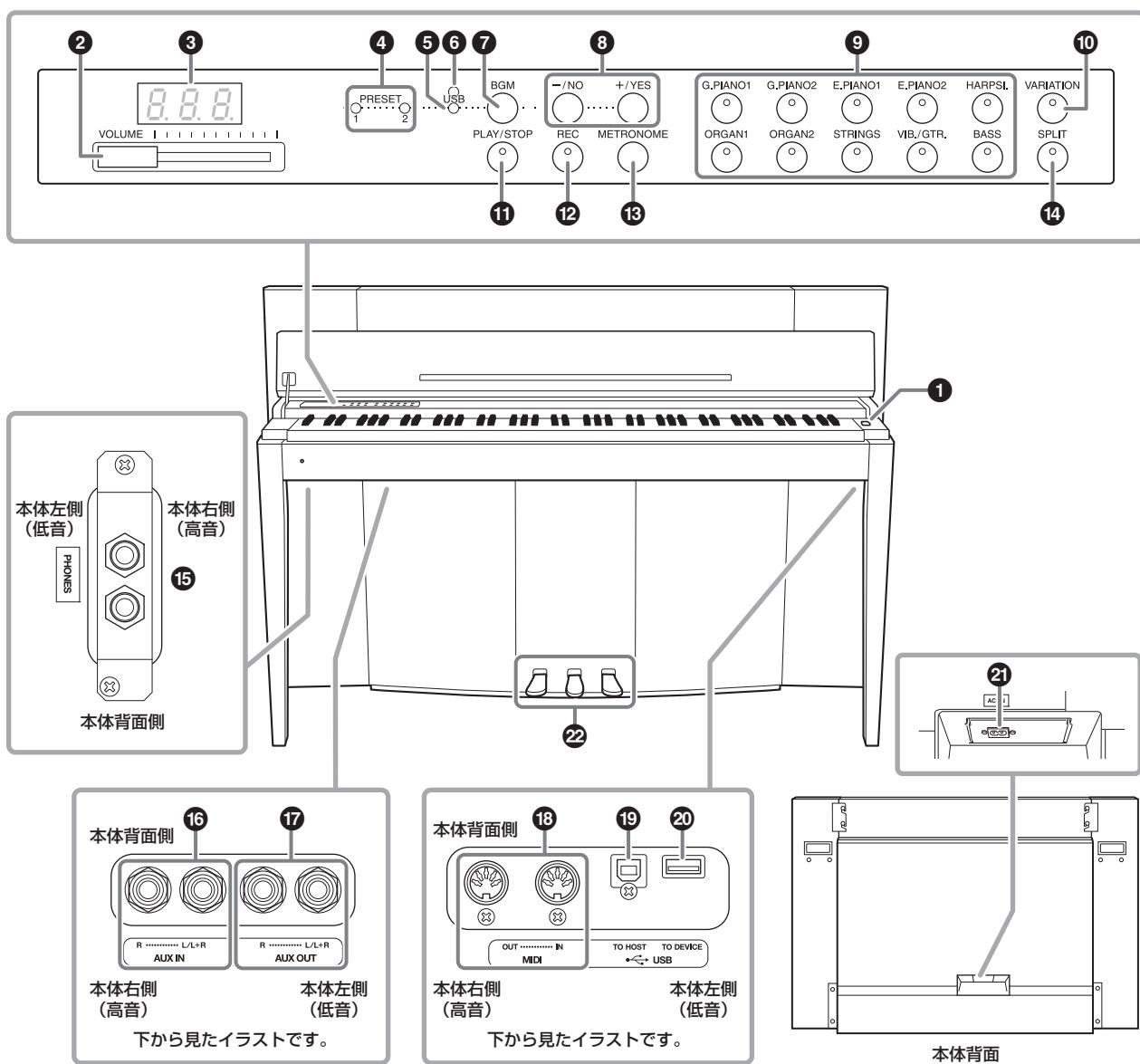
USBフラッシュメモリーを使用して、お好みの曲をBGMとして自動演奏させることも可能です。

USBフラッシュメモリーからオーディオファイルを再生

USBフラッシュメモリーに入っているオーディオファイル(.wav)を楽器で再生できます。また、ご自分の演奏をオーディオファイル(.wav)としてUSBフラッシュメモリーに保存することもできるので、コンピューターを使って携帯音楽プレーヤーなどに転送し、演奏を聞くことができます。



各部の名称と機能



画面

通常、画面表示は消えています。

パネルのボタン操作を行なうと、ソング番号や各種設定値が表示されます。表示は設定が終わると消えます。

120

テンポ

005

ソング番号(23ページ)

40.0

各種設定値

この画面は、英数字3文字で様々なメッセージも表示します。詳細は37ページをご参照ください。

- ① [S]電源スイッチ 13ページ**
電源のオン/オフを切り替えます。
- ② [VOLUME]スライダー 14ページ**
楽器全体の音量を調節します。
- ③ 画面 10ページ**
注記
「--」が流れているとき(データアクセス中)は、電源を切らないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ④ [PRESET 1]/[PRESET 2]ランプ 23ページ**
楽器本体に入っているピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲の再生中に点灯します。
- ⑤ [USB]ランプ 23ページ**
USBフラッシュメモリー内の曲の再生中に点灯します。
- ⑥ [USB]アクセスランプ 23, 28ページ**
USBフラッシュメモリーのデータを読み込み中に赤く点滅します。
- ⑦ [BGM]ボタン 23, 24ページ**
BGMモードの[PRESET 1]/[PRESET 2]/[USB]/オフを切り替えます。
- ⑧ [-/NO]/[+/YES]ボタン**
数値を設定したり曲や項目を選んだりします。
- ⑨ 音色ボタン 18ページ**
音色を選びます。
- ⑩ [VARIATION]ボタン 18ページ**
選ばれている音色の表情を変えられます。
- ⑪ [PLAY/STOP]ボタン 24ページ**
楽器本体に入っているピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲や、録音した演奏、およびUSBフラッシュメモリーに保存した曲などを再生したり停止したりします。
- ⑫ [REC]ボタン 26ページ**
ご自身の演奏を録音します。
- ⑬ [METRONOME]ボタン 16ページ**
メトロノームを鳴らします。
- ⑭ [SPLIT]ボタン 22ページ**
鍵盤を左右の領域に分けて、別々の音色で演奏できます。
- ⑮ [PHONES]端子 13ページ**
ヘッドフォンを接続します。
- ⑯ [AUX IN] [L/L+R] [R]端子 32ページ**
他の楽器や外部機器の音をこの楽器本体のスピーカーから出します。
- ⑰ [AUX OUT] [L/L+R] [R]端子 32ページ**
この楽器にアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出します。
- ⑱ MIDI [IN] [OUT]端子 33ページ**
MIDI機器を接続して、MIDIを活用できます。
- ⑲ [USB TO HOST]端子 33ページ**
コンピューターと接続するための端子です。コンピューターとの接続方法については電子マニュアル「コンピューターとつなぐ」(2ページ)をご覧ください。
注記
USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- ⑳ [USB TO DEVICE]端子 28ページ**
USBフラッシュメモリーを接続して、録音した曲を保存したり、USBフラッシュメモリーに入っているデータを楽器本体で再生します。
- ㉑ [AC IN]端子 13ページ**
電源コードを接続します。
- ㉒ ペダル 15ページ**
アコースティックピアノのように、音を響かせたり音質をやわらかくしたいときに使用します。



ご使用前の準備

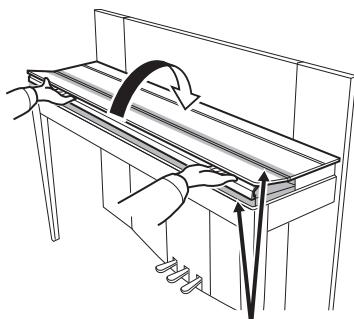
キーカバーと譜面立てについて

⚠ 注意

- ・キーカバーを開閉するときは、両手でゆっくりと行ってください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、キーカバーの縁と本体の間に手や指をはさまないようご注意ください。
- ・キーカバーを開けるとき、キーカバーの上に金属や紙片などを置かないでください。本体の内部に落ちて取り出せなくなり、感電、ショート、発火や故障などの原因になります。

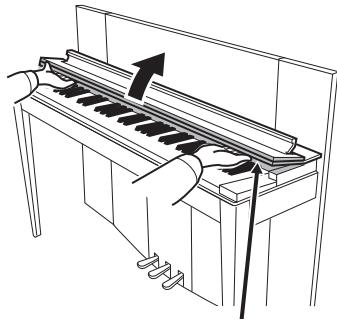
キーカバーを開ける

1. 手前のくぼみに手をかけてキーカバーを持ち上げ、手前の部分を折りたたみます。



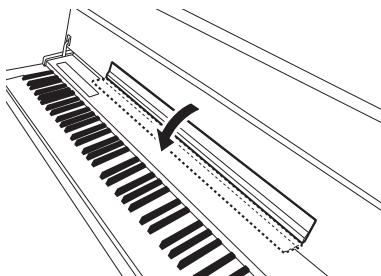
手や指をはさまないように注意

2. もう一度手前を持ち上げて、背板に立てかけます。



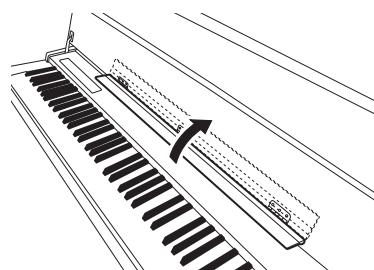
手や指をはさまないように注意

3. 譜面立てを手前に倒します。

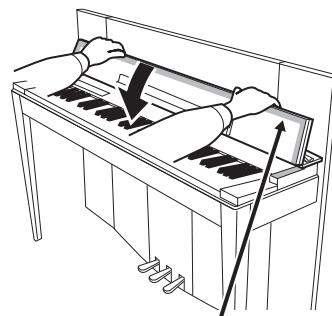


キーカバーを閉じる

1. 譜面立てが開いているときは譜面立てを閉じます(鍵盤の傷防止)。

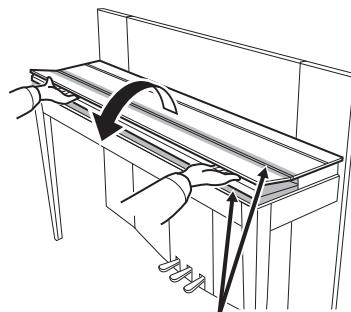


2. キーカバーを手前にゆっくり倒します。



手や指をはさまないように注意

3. 折りたたまれているキーカバーの上側を、ゆっくりと手前に戻します。



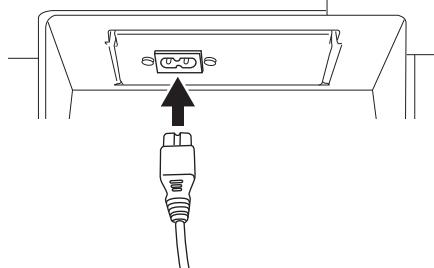
手や指をはさまないように注意

電源を入れる

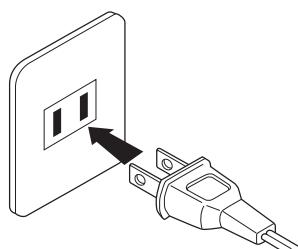
1. 電源コードを接続する

最初に本体側のプラグを[AC IN]端子に差し込み、次にコンセント側(家庭用AC100V)のプラグを差し込みます。[AC IN]端子の位置は「各部の名称と機能」(10ページ)でご確認ください。

1-1



1-2



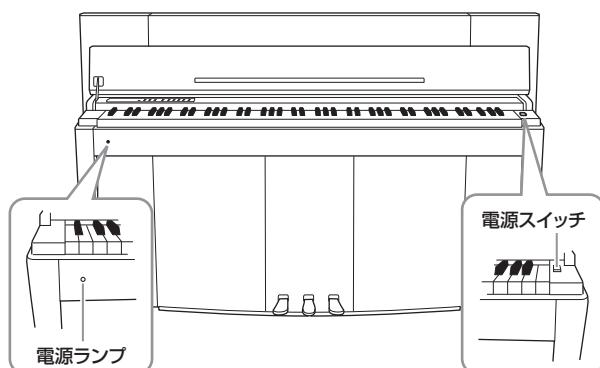
⚠ 警告

電源コードは、必ず付属のものをお使いください。ほかの電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。

2. 電源を入れる

鍵盤右の[電源スイッチ]を押すと、電源が入ります。

本体前面左の電源ランプが点灯します。



電源ランプについて

電源を切り忘れてキーカバーを閉めてしまった場合、電源ランプの点灯により、電源が入ったままであることを知らせてくれます。

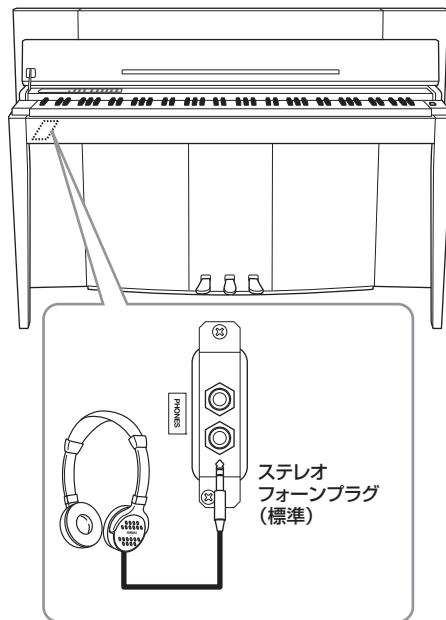
電源を切るときは、もう一度電源スイッチを押します。画面の表示が消え、本体前面左の電源ランプも消灯します。

⚠ 注意

電源が切れた状態でも微電流が流れています。楽器を長時間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

ヘッドフォンを使う

ヘッドフォン(別売)を[PHONES]端子に接続して使います。[PHONES]端子は2つありますので、ヘッドフォンを2本接続して2人で演奏を楽しむこともできます。1本だけ接続する場合は、どちらの端子をご使用いただいても構いません。



⚠ 注意

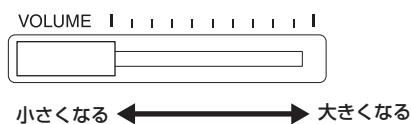
大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



ピアノとして演奏する

音量(ボリューム)調節

ボリューム
本体パネル左の[VOLUME]スライダーを左右に動かして調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。



[VOLUME]スライダーを動かすと、[PHONES]端子や AUX OUT 端子の出力レベルも変更されます。

VOLUME= 全体の音量

⚠ 注意

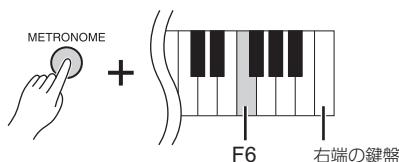
大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

インテリジェント アコースティック コントロール(IAC)

インテリジェント アコースティック コントロール(IAC)とは、楽器の全体音量の大小に応じて、自動的に音質を補正する機能です。音量が小さい場合でも、低音や高音がしっかりと聞こえるようになります。IACは、この楽器のスピーカーからの出力音のみに有効です。

■ IACをオンにする

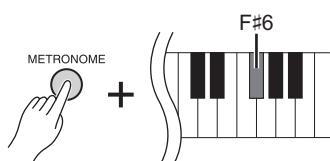
メトロノーム
[METRONOME]ボタンを押したまま、F6鍵盤を押します。



初期設定:
オン

■ IACをオフにする

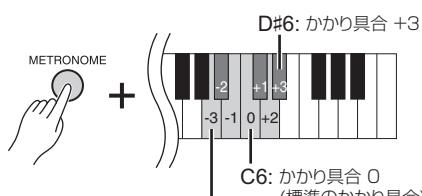
メトロノーム
[METRONOME]ボタンを押したまま、F#6鍵盤を押します。



■ IACのかかり具合の調整

メトロノーム
[METRONOME]ボタンを押したまま、A5～D#6鍵盤のどれかを押して補正のかかり具合を調整します。

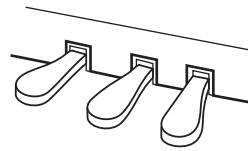
IACのかかり具合の値が大きいほど、音量が小さいときの低音や高音がよりしっかりと聞こえるように補正されます。



設定範囲:
-3 (A5)～+3 (D#6)
初期設定:
0 (C6)

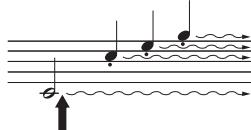
ペダルを使う

ペダルには、右のペダル(ダンパー・ペダル)とまん中のペダル(ソステヌート・ペダル)、左のペダル(ソフト・ペダル)があります。



右のペダル(ダンパー・ペダル)

このペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音が長く響きます。グランドピアノの音色で、ダンパー・ペダルを踏むと、踏んだときの響板や弦の共鳴効果(ダンパーレゾナンス)が加わります。



ここでダンパー・ペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とその後弾いた音すべてが長く響く

■ ダンパーレゾナンスのかかり具合の設定

バリエーション
[VARIATION]ボタンを押したまま、C5～A♯5鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

設定範囲:
0 (C5)～10 (A♯5)

初期設定:
音色ごとにかかり具合が設定されています。

ハーフペダル機能

ダンパー・ペダルを踏んでいない状態と、完全に踏み込んだ状態の中間の状態を「ハーフペダル」といい、グランドピアノのダンパーが弦に触れるか触れないかの微妙な状態を指します。この楽器のダンパー・ペダルはハーフペダルに対応しており、どの程度踏み込んだらハーフペダル効果がかかるか(ハーフペダルポイント)を、設定できます。

GPレスポンスダンパー・ペダル

この楽器のダンパー・ペダルは、ペダルを踏んだときの感覚をよりグランドピアノに近づけたGPレスポンスダンパー・ペダルです。ハーフペダルのポイントを体感しやすく、ハーフペダル効果をかけやすいのが特長です。楽器の設置場所など状況によって、踏み心地が異なる場合があるので、必要に応じてハーフペダルポイントを好みの状態に設定してください。

・ハーフペダルポイントの設定

メトロノーム
[METRONOME]ボタンを押したまま、A♯3～E4鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

NOTE

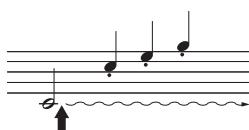
ペダルには、工場出荷時にビニール袋をかぶせてあります。GPレスポンスダンパー・ペダルの効果を最大にするため、ビニール袋を外してください。

設定範囲:
-2(浅い位置で効く)～0～4(深い位置で効く)

初期設定:
0 (C4)

まん中のペダル(ソステヌート・ペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけが、鍵盤から指を離しても長く響きます。オルガンやストリングスなどの音色では、鍵盤を弾いたままソステヌート・ペダルを踏むと、鍵盤から指を離しても音が減衰せず、踏んでいる間鳴り続けます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



ここでソステヌート・ペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

左のペダル(ソフト・ペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた鍵盤の音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくします。ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい場合は、ペダルを踏んでから鍵盤を弾きます。

メトロノームを使う

この楽器は、メトロノーム(ピアノの練習でよく使われる正確なテンポを刻む道具)を備えています。

1. [METRONOME] ボタンを押して
メトロノームを鳴らす



メトロノームが鳴っている間、
テンポに合わせて点滅します。

2. [METRONOME] ボタンを押して
メトロノームを止める

メトロノームの設定

■ テンポの調節

[BGM]ボタンを押して、BGMをオフ([PRESET 1]、[PRESET 2]、および[USB]のランプが消えた状態)にします。

[-/NO]または[+/YES]ボタンを押して、テンポの値を変えます。

[-/NO]と[+/YES]ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

設定範囲:

5~500 (1分間の拍数)

初期設定:

120

MIDIソングを選んだ場合 (23ページ)

MIDIソングは、テンポや拍子の初期設定が、ソングごとに異なります。

MIDIソングを再生すると、ここで設定はキャンセルされ、選択したソング固有のテンポや拍子に切り替わります。

■ 拍子の設定

[METRONOME]ボタンを押したままC1~F1鍵盤のどれかを押して拍子を設定します。

画面には、拍子が表示されます。



拍子

たとえば、4拍子の場合は「4」に設定します。

1拍目に「チーン」と鳴りその他の拍では「カチ」と鳴ります。

0に設定したときは「チーン」と鳴らずに、すべての拍で「カチ」と鳴ります。

設定範囲:

0 (C1)、2 (C#1)~6 (F1)

初期設定:

0 (C1)

■ 音量の調整

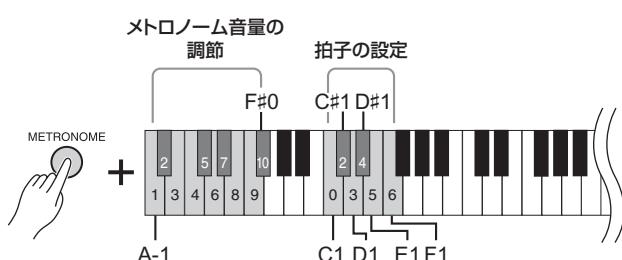
[METRONOME]ボタンを押したままA-1~F#0鍵盤のどれかを押して音量を設定します。右側の鍵盤を押すほど音量を大きく設定できます。

設定範囲:

1 (A-1)~10 (F#0)

初期設定:

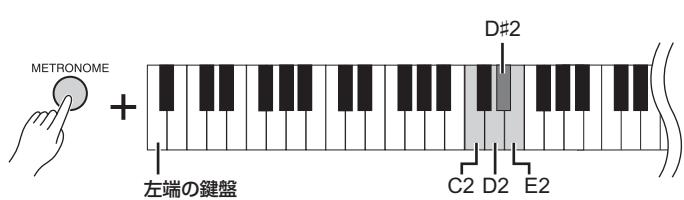
8(E0)



鍵盤のタッチ感度を設定する

鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方(タッチ感度)を、4種類の中から選びます。鍵盤の重さ自体は変わりません。使う音色や演奏する曲、好みによって使い分けてください。

[METRONOME]ボタンを押したままC2鍵盤やD2～E2鍵盤を押してタッチ感度を設定します。
画面にはタッチの種類の番号が表示されます。



NOTE

タッチ感度の種類は全音色に共通の設定です。ただし、音色によっては、鍵盤を弾く強さ(タッチ)に応じた音の強弱が付かないものがあります。「音色一覧」(41ページ)をご参照ください。

初期設定

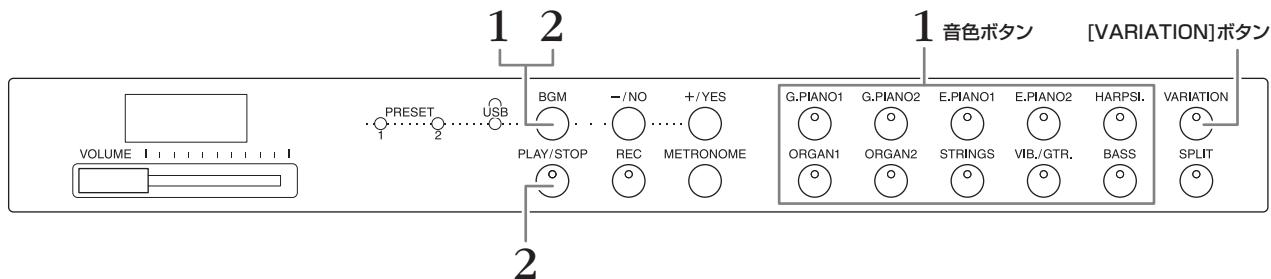
ミディアム(D#2)

鍵盤	画面	タッチ感	説明
C2	OFF	フィックス	タッチの強弱にかかわらず一定の音量が出ます。
D2	1	ソフト	軽いタッチで大きい音が出ます。比較的音のつぶがそろいやすいタッチです。
D#2	2	ミディアム	標準的なタッチです。
E2	3	ハード	強いタッチで弾かないと大きい音が出にくい設定です。ピアニッシモからフォルティッシモまで表現豊かな演奏ができます。



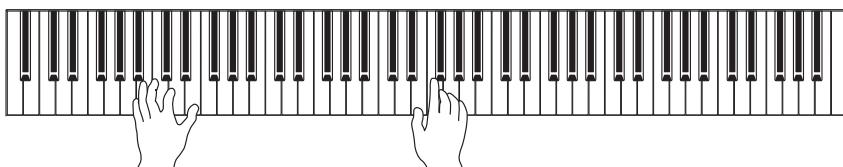
音色を楽しむ

ピアノのほかに、オルガンや弦楽器などの楽器音(音色)を選んで弾くことができます。



音色を選ぶ

1. 使いたい音色ボタンを押してランプを点灯させる
2. 鍵盤を弾いてみましょう



バリエーション [VARIATION]ボタン

現在選ばれている音色の表情を変えます。[VARIATION]ボタンまたは選ばれている音色ボタンを押すごとに、オン/オフが切り替わります。オンにするとランプが点灯します。

NOTE

音色ごとの特徴については、「音色一覧」(41ページ)をご参照ください。

音色デモ曲を聞く

音色の特徴をつかむために、音色ごとのデモ曲を聞いてみましょう。音色デモ曲の曲名については、「音色デモ曲一覧」(40ページ)をご参考ください。

1. [BGM]ボタンを押したまま、聞きたいデモ曲の音色ボタンを押す
デモ曲の再生がスタートし、ストップするまで順番に別の音色のデモ曲が連続して再生されます。
2. [BGM]ボタンまたは[PLAY/STOP]ボタンを押して、再生をストップする

NOTE

録音モード(26ページ)のときはデモ曲モードに入れません。

NOTE

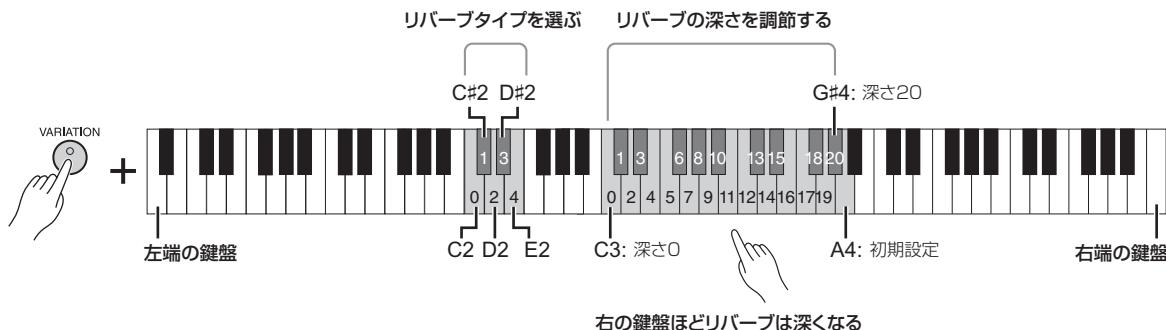
デモ曲の再生データはMIDI送信されません。また、デモ曲モードではMIDI受信を行いません。

NOTE

デモ曲では、テンポの調節はできません。選ばれている曲のテンポになります。

音に残響をつける(リバーブ)

この楽器にはいくつかのリバーブタイプが用意されており、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような残響効果をかけたり、その深さ(かかり具合)を変えることができます。リバーブタイプとその深さは、音色やソングを選択するだけで最適なものが自動で呼び出されます。したがって、通常は設定の必要がありませんが自由に変更することができます。



リバーブタイプの設定

[Variation] ボタンを押したまま C2～E2 鍵盤のどれかを押します。
画面にはリバーブの種類の番号が表示されます。

初期設定:
音色ごとにリバーブの種類(オフも含む)やかかり具合が設定されています。

リバーブタイプリスト

鍵盤	画面	リバーブタイプ	説明
C2	OFF	オフ	リバーブはかかりません。
C#2	1	ルーム	部屋の中にいるような響きになります。
D2	2	ホール1	小さいコンサートホールにいるような響きになります。
D#2	3	ホール2	大きいコンサートホールにいるような響きになります。
E2	4	ステージ	ステージにいるような響きになります。

深さ(かかり具合)の調節

[Variation] ボタンを押したまま C3～G#4 鍵盤のどれかを押します。
[Variation] ボタンを押したまま A4 鍵盤を押すと、その音色に最適なリバーブの深さになります。
画面には、リバーブの深さが表示されます。

設定範囲:
深さ: 0 (効果なし)～20 (深さ最大)

弦共鳴効果をつける(ストリングレゾナンス)

この楽器では、ハンマーが弦を打ったときに、他の弦が共鳴して生まれる響き(ストリングレゾナンス)を再現しています。
ストリングレゾナンスの効果がかかる音色は、「音色一覧」(41ページ)で確認ください。

かかり具合の設定

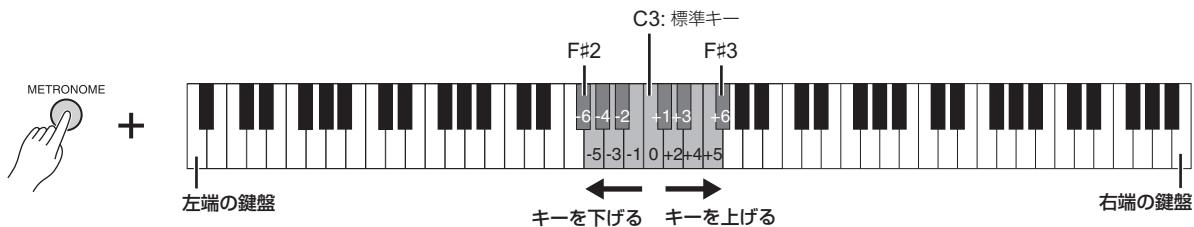
[Variation] ボタンを押したまま C6～A#6 鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)
画面には、かかり具合が表示されます。

設定範囲:
かかり具合: 0 (効果なし)～10 (深さ最大)
初期設定:
5

キー(調)を変える(トランスポーズ)

弾く鍵盤を変えずに、ほかの楽器や歌う人の声の高さに半音単位でキー(調)を合わせることができます。この機能をトランスポーズといいます。

たとえばトランスポーズを「+5」に設定すると、「ド」の鍵盤を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」の弾きかたで「へ長調」の演奏になります。



■ キーを下げる

メトロノーム
[METRONOME]ボタンを押したままF#2 (-6)～B2 (-1)鍵盤のどれかを押します。

■ キーを上げる

[METRONOME]ボタンを押したままC#3 (+1)～F#3 (+6)鍵盤のどれかを押します。

■ キーを標準に戻す

[METRONOME]ボタンを押したままC3鍵盤を押します。

音の高さを微調整する(チューニング)

楽器全体の音の高さを微調整する機能です。ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

■ 音の高さを上げる(約0.2Hz単位)

[BGM]ボタンと[METRONOME]ボタンを押したまま[+/YES]ボタンを押します。

■ 音の高さを下げる(約0.2Hz単位)

[BGM]ボタンと[METRONOME]ボタンを押したまま[-/NO]ボタンを押します。

■ 初期設定に戻す

[BGM]ボタンと[METRONOME]ボタンを押したまま、[+/YES]と[-/NO]ボタンを同時に押します。

画面には音の高さが表示されます。100の位は表示されません。

例 440.2Hzのときの表示

4 0 . 2

Hz(ヘルツ)とは

音の高さを示す単位です。

音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値の単位がHzです。

設定範囲:

414.8～466.8Hz

初期設定:

440.0Hz

2つの音色を重ねる(デュアル)

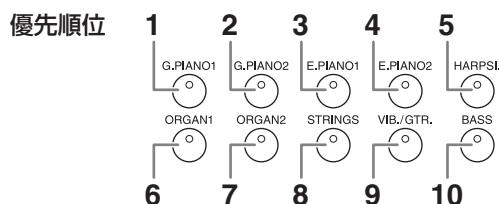
2種類の音色を重ねて鳴らすことができます。重ねて鳴らすことにより、厚みのある音を作り出せます。

1. デュアルモードに入る

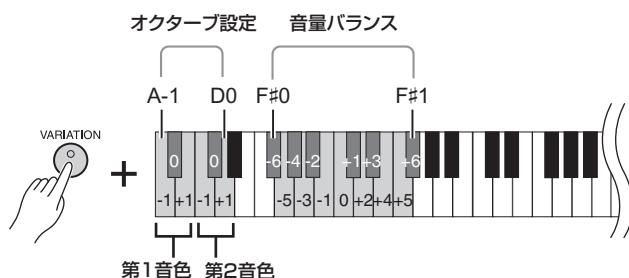
2つの音色ボタンを同時に押して、2つの音色ボタンのランプを点灯させます。
鍵盤を弾いて音を出してみましょう。

第1音色/第2音色

下記の優先順位で、番号の小さい方の音色が第1音色、もう一方が第2音色になります。



第1音色、第2音色はそれぞれ、以下のような設定ができます。



各音色のオクターブを上げる/下げる(オクターブシフト)

音の高さを1オクターブ上下にシフトさせます。第1音色と第2音色を別々に設定できます。音の響きかたが違ってきます。

[VARIATION]ボタンを押したままA-1～D0鍵盤のどれかを押します。

2音色の音量バランスをとる

片方の音をメインにしてもう片方の音を薄く重ねるなど、2音色の音量バランスを設定します。

[VARIATION]ボタンを押したままF#0～F#1鍵盤のどれかを押します。設定値が0のとき、両音色は同じ音量になります。設定値が+6に近づくほど第1音色の音量の方が大きくなり、-6に近づくほど第2音色の音量の方が大きくなります。

2. デュアルモードを抜ける

新たに1つの音色ボタンを押すとデュアルモードを抜け、元の演奏状態に戻ります。

NOTE

デュアルとスプリット(22ページ)は同時に使えません。

デュアルのときの[VARIATION]

どちらかの音色のバリエーションがオンでデュアルモードに入ると、[VARIATION]ランプは点灯します。[VARIATION]ボタンを押すと、両音色ともバリエーションのオン/オフが切り替わります。片方の音色だけオン/オフを切り替えたい場合は、両方のボタンを同時に押して、オン/オフさせたい音色のボタンだけを離しもう一度押します。

デュアルのときのリバーブ

音色の組み合わせごとに最適なリバーブが自動的に選ばれます。

オクターブや音量バランスの初期設定:

音色の組み合わせごとに最適な値が自動的に選ばれます。

鍵域を左右に分けて別々の2つの音色で弾く(スプリット)

鍵盤全体を左右の領域に分け、別々の音色で演奏することができます。左の領域で[BASS]などの音色でベースパートを、右の領域でメロディーパートを演奏したりすることができます。

1. スプリットモードに入る

[SPLIT]ボタンを押して、ランプを点灯させます。
この時点で、左側音色に初期設定の音色[BASS]が選ばれます。



スプリットとデュアル

スプリットとデュアル(21ページ)
は同時に使えません。

2. スプリットポイント(2音色の境め)を決める

[SPLIT]ボタンを押したまま、スプリットポイントにしたい鍵盤を押します。
または、[SPLIT]ボタンを押したまま、[-/NO]/[+/YES]ボタンを押してスプリットポイントを移動します。

[SPLIT]ボタンを押している間は画面にスプリットポイントの鍵盤名が表示されます。

スプリットポイントの鍵盤名の表示の例



3. 右側の音色を決める

演奏したい音色ボタンを押します。

バリエーション
[VARIATION]ボタンまたは選ばれている音色ボタンを押すと、バリエーションのオン/オフが切り替わります。

4. 左側の音色を決める

[SPLIT]ボタンを押したまま、演奏したい音色ボタンを押します。[SPLIT]ボタンを押している間は左側の音色ボタンのランプが点灯します。

[SPLIT]ボタンを押したまま、[VARIATION]ボタンまたは選ばれている音色ボタンを押すと、バリエーションのオン/オフが切り替わります。

鍵盤を弾いて音を出してみましょう。

右側音色、左側音色はそれぞれ、以下のような設定ができます。

各音色のオクターブを上げる/下げる(オクターブシフト)

右側の音色と左側の音色を別々に設定できます。

[VARIATION]ボタンを押したままA-1～D0鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

2音色の音量バランスをとる

[VARIATION]ボタンを押したままF#0～F#1鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

設定値が0のとき、両音色は同じ音量になります。設定値が+6に近づくほど右側の音量の方が大きくなり、-6に近づくほど左側の音量の方が大きくなります。

ダンパーペダルの有効域の設定

ダンパーペダル効果を両音色にかけるか(ALL)、右側音色だけにかけるか(1)、左側音色だけにかけるか(2)を設定します。

[METRONOME]ボタンを押したままG4、G#4、A4鍵盤のどれかを押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

5. スプリットモードを抜ける

[SPLIT]ボタンを押して、ランプを消灯させます。

NOTE

スプリットポイント自体の鍵盤は、左側に属します。

スプリットポイントの初期設定:
F#2

NOTE

[SPLIT]ボタンを押したまま、[-/NO]と[+/YES]ボタンを同時に押すと初期設定のF#2に戻ります。

スプリットのときの[VARIATION]

通常、右側の音色ボタンのランプが点灯し、バリエーションがオンなら、[VARIATION]ランプも点灯します。

[SPLIT]ボタンを押している間は、左側の音色ボタンのランプが点灯し、バリエーションがオンなら、[VARIATION]ランプも点灯します。

スプリットのときのリバーブ

スプリットの組み合わせに最適なリバーブが自動的に選ばれます。

オクターブや音量バランスの初期設定:

音色の組み合わせごとに最適な値が自動的に選ばれます。

初期設定:

1 右側の音色



BGM(ソング)を再生する

この楽器では、内蔵曲や録音した曲、市販の曲データを総称して「ソング」と呼んでいます。

ミディ MIDIソングとオーディオソング

この楽器で再生できるソングは、MIDIソングとオーディオソングの2種類があります。MIDIソングは、鍵盤を押す/離すといった演奏の動きを記録したデータです。楽譜と同じように、どの鍵盤をどのくらいの強さでどのタイミングで弾いた、といった演奏情報が記録され、音そのものは記録されません。記録された演奏情報にもとづいて、楽器の音源部が鳴ることで初めて音になります。データ容量が小さく、また、音色の変更などの編集がしやすいのが特長です。オーディオソングは、演奏した音そのものを記録したデータです。カセットテープやボイスレコーダーなどに録音するのと同じくみで記録したものです。携帯音楽プレイヤーなどでも再生できるので、他の人に自分の演奏を聞いてもらうことができます。

NOTE

MIDIについては、電子マニュアル「MIDI入門」で詳しく説明しています。

この楽器で再生できるソング

この楽器では、BGMとして以下のソングが再生できます。

BGMランプ	ソング番号	内容
[PRESET 1]	001~030	ピアノリスニングソング(Classic) 楽器に内蔵されているピアノClassicの曲です。曲名は39ページをご覧ください。
[PRESET 2]	001~020	ピアノリスニングソング(Jazz) 楽器に内蔵されているピアノJazz曲です。曲名は40ページをご覧ください。
[USB]	A.00~A.99*	USBフラッシュメモリーに保存したユーザーソング(オーディオ) この楽器で録音したあと、MIDIから変換してUSBフラッシュメモリーに保存したオーディオソングです。100曲まで保存できます。
	U.00~U.99*	USBフラッシュメモリーに保存したユーザーソング(MIDI) この楽器で録音して、USBフラッシュメモリーに保存したMIDIソングです。100曲まで保存できます。
	001~400*	USBフラッシュメモリーに保存した外部ソング(MIDI/オーディオ) です。400曲まで再生できます。
オフ		この楽器で録音し、楽器に保存されているユーザーソング(MIDI)です(26ページ)。この楽器では、1曲のみ保存できます。

*対象データがない場合は表示されません。

■ BGMオフ

プリセット

[BGM]ボタンを押して、[PRESET 1]、[PRESET 2]、および[USB]ランプをオフにした状態です。

BGMオフの状態で[PLAY/STOP]ボタンを押すと、この楽器で録音し楽器に保存されているユーザーソング(MIDI)が再生されます(26ページ)。

この楽器で再生できるソングのデータ形式

• SMF (Standard MIDI File) フォーマット0と1

MIDIソングの代表的なフォーマットです。一般的なSMFにはフォーマット0とフォーマット1があり、多くのMIDI機器がSMFフォーマット0に対応しています。また、市販のミュージックデータの多くがSMFフォーマット0で作られています。この楽器で録音したMIDIソングはSMFフォーマット0になります。

ユーザーソングと外部ソング

この楽器で録音したソングを「ユーザーソング」といいます。この楽器以外で作られたソングを「外部ソング」といいます。USBフラッシュメモリーでは、「USER FILES」フォルダー内のソングは、ユーザーソングとして扱われます。「USER FILES」フォルダー以外にあるソングは、外部ソングとして扱われます。この楽器でUSBフラッシュメモリーにソングを録音すると、「USER FILES」フォルダーが自動的に作成され、このフォルダーにユーザーソングが保存されます。

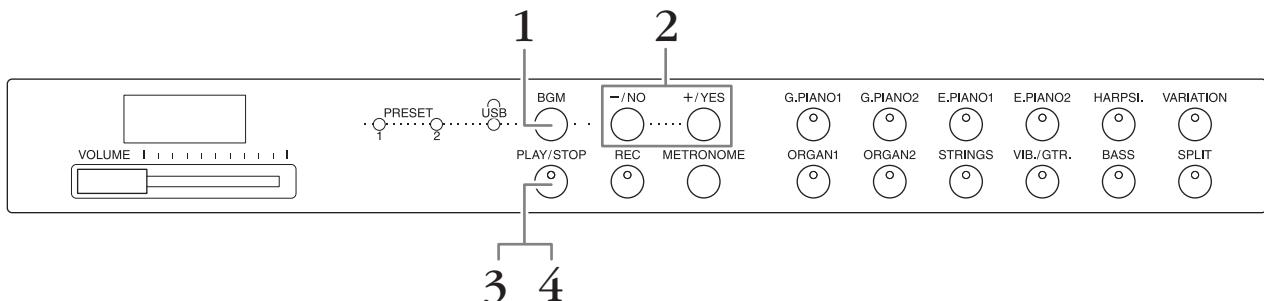
NOTE

この楽器で再生可能なMIDIデータのサイズは、1曲につき約400KBまでです。

• WAVフォーマット(.wav)

オーディオ(音声)データの記録方式のひとつです。この楽器では、44.1kHz、16bitのステレオWAVファイルが再生できます。この楽器で録音したオーディオソングはこの形式で保存されます。この楽器が対応可能な再生時間は、1曲につき80分までです。

ソングを再生する



1. [BGM]ボタンを押して、再生したいBGMのランプを点灯させる

BGMの種類については、23ページの表をご覧ください。
[USB]は、USBフラッシュメモリーを接続しているときのみ選べます。

2. ソングを選ぶ

[-/NO]または[+/-YES]ボタンを押して、ソング番号または「rnd」、「ALL」、シーン番号を選びます。

- **rnd (ランダム)** ……選んだBGM内のソングを順不同に、ストップするまで連続再生します。
- **ALL (オール)** ……選んだBGM内のソングを順番に、ストップするまで連続再生します。USBフラッシュメモリーに保存した外部ソングはファイル名順に再生されます。
- **S.xx (シーン)** ……シーン番号[PRESET 1] (S.01～S.13)、[PRESET 2] (S.01～S.10)を選んだとき、曲をシーンごとにストップするまで連続再生します。
- **ソング番号** ……聞きたいソングを1曲指定して再生します。ソング番号については23ページをご覧ください。

シーンとは

ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲は23のシーンごとにも分けてありますので、好みのシーンを選んで聞くことができます。たとえば「おとぎ話の世界」のイメージの演奏を聞きたいときは、「メルヘン」のシーンを選ぶとそのイメージの曲が次々に演奏されます。シーンのタイトルおよび曲リストは39、40ページを参照ください。

3. [PLAY/STOP]ボタンを押して再生をスタートさせる

画面には、再生中のソング番号が表示されます。シーンを選んだときは、各シーンでの曲順が表示されます(39、40ページ参照)。
ソング再生中に[-/NO]/[+/-YES]ボタンを押すと曲が変わります。

4. [PLAY/STOP]ボタンを押して再生をストップする

NOTE

USBフラッシュメモリーに入っているソングを再生したい場合は、「USBフラッシュメモリーの取り扱いについて」(28ページ)を読み、USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に接続してから行なってください。

NOTE

再生に合わせて、ご自身で鍵盤を弾くことができます。手弾きの音色は変えられます。

NOTE

ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲およびUSBフラッシュメモリー内の曲は、テンポの調節ができません。選ばれている曲のテンポになります。

NOTE

リバーブはほかの曲を選ぶと(または、連続再生で新しい曲がスタートすると)その曲に合ったリバーブの種類になります。

USBフラッシュメモリーのソングを再生する場合の設定

音量の調節(オーディオソングのみ)

本体以外で録音したオーディオソングや市販のオーディオソングの音量は、鍵盤演奏の音量とバランスが合わない場合があります。その場合は、[BGM]ボタンを押したまま、C0～G1鍵盤のどれかを押すことで、オーディオソングの再生音量を調節できます。(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

設定範囲:
1 (C0) ~20 (G1)
初期設定:
16(D♯1)

ソング再生チャンネルの設定(外部MIDIソング)

この楽器に入っていない音色を含むMIDIソング(XGやGMソングなど)を再生すると、本来の音色が再現されません。この場合、ソング再生チャンネルを1+2に設定すると、3～16チャンネルが消音されるため、1～2チャンネルがピアノ音であれば、本来のソングの音を再現できます。

初期設定:
ALL

■ パート(チャンネル)1+2だけを鳴らす(1+2)

[BGM]ボタンを押したまま、A♯-1鍵盤を押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。

■ すべてのパート(チャンネル)を有効にする(ALL)

[BGM]ボタンを押したまま、A-1鍵盤を押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。



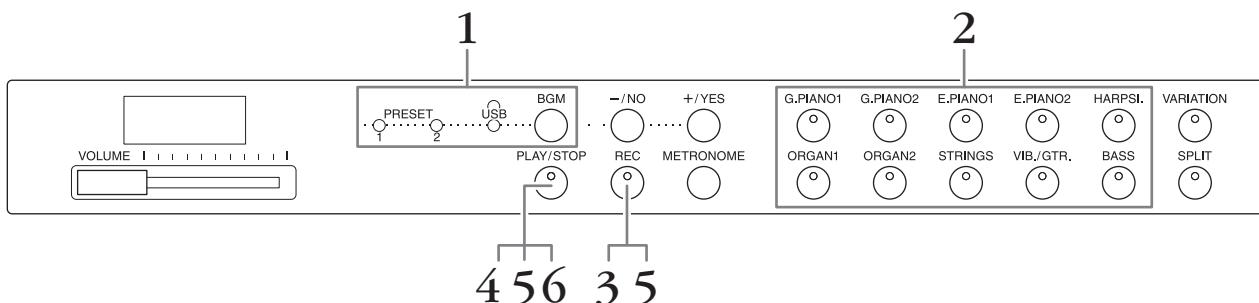
演奏を録音する

自分の演奏を録音してみましょう。この楽器では、ユーザーソング(MIDI)として1曲、楽器本体に録音できます。

NOTE

オーディオソングとしては楽器本体に録音できません。

録音する



- [BGM]ボタンを押して、[PRESET 1]、[PRESET 2]、および[USB]のランプをオフにする

- 録音に使う音色や、拍子などの設定を選ぶ

音色ボタンを押して録音に使う音色を選びます。必要に応じてそのほかの設定(拍子やリバーブなど)も選んでください。

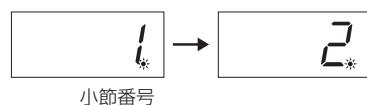
- レコード [REC]ボタンを押して録音モードに入る

[REC]のランプが点灯します。また、[PLAY/STOP]のランプがテンポに合わせて点滅します。

録音を中止する場合は、もう一度[REC]ボタンを押します。

- プレイ レコード [PLAY/STOP]ボタンを押して、録音をスタートする

録音中、画面には録音中の小節番号が表示されます。



- [PLAY/STOP]または[REC]ボタンを押して、録音をストップする

録音をストップすると、「-」が流れで表示され保存中であることを示します。保存が終わると、「End」が3秒表示されます。

楽器本体にユーザーソング(MIDI)(23ページ)として保存されます。

- [PLAY/STOP]ボタンを押して、録音した演奏を再生する

画面には再生中の小節番号が表示されます。曲が終わると、自動的に再生が終了します。再生の途中でストップする場合は、[PLAY/STOP]ボタンを押します。

NOTE

以下の状態のときは、録音モードに入れません。

- 音色デモ曲再生中(18ページ)
- BGM再生中(23ページ)
- ファイル操作中(28ページ)

NOTE

メトロノームを鳴らしながら録音することもできます。ただしメトロノームの音は、録音できません。

注記

すでに録音されているデータがある場合、それまでの録音データは消えてしまいますのでご注意ください。

NOTE

演奏をUSBフラッシュメモリーに直接保存することはできません。楽器本体に録音したユーザーソング(MIDI)を、USBフラッシュメモリーにMIDIソング/オーディオソングとして保存してください(30、31ページ)。

録音した演奏を削除する

1. [REC]ボタンを押して録音モードに入る
2. [PLAY/STOP]ボタンを押して、録音をスタートする
3. 何も弾かずに、[PLAY/STOP]ボタンをもう一度押して、
録音をストップする
録音したデータが削除されます。



USBフラッシュメモリーを使う

USBフラッシュメモリーを楽器に接続すると以下のことができます。

- USBフラッシュメモリー内の曲を聞く(23ページ)
- 楽器に録音したユーザーソングをUSBフラッシュメモリーにコピーする(30ページ)
- 楽器に録音したユーザーソングをオーディオソングに変換する(31ページ)
- バックアップデータを保存する(36ページ)

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

[USB TO DEVICE]端子ご使用上の注意

[USB TO DEVICE]端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

USBフラッシュメモリー

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLをご確認ください。

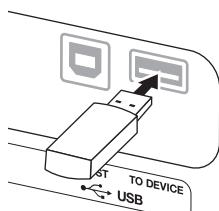
<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>

NOTE

上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

■ USB機器の接続

[USB TO DEVICE]端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。



注記

- USB機器の抜き差しは、再生や録音中、ファイル操作中(保存/コピーなど)、およびUSB機器へのアクセス中には行なわないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB機器やデータが壊れたりするおそれがあります。
- USB機器の抜き差しは、数秒間隔を空けて行ってください。

NOTE

USBケーブルで接続する場合、3メートル未満のケーブルをご使用ください。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについて

本機にUSBフラッシュメモリーを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBフラッシュメモリーに保存したり、USBフラッシュメモリーのデータを楽器本体で再生したりできます。

■ 接続できるUSBフラッシュメモリーの数

同時に使用できるUSBフラッシュメモリーは、1台だけです。

■ USBフラッシュメモリーのフォーマット

USBフラッシュメモリーの中には、本機で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。[USB TO DEVICE]端子にUSBフラッシュメモリーを接続したときに、フォーマットを促すメッセージ(37ページ)が表示された場合は、コンピューターでUSBフラッシュメモリーをフォーマットしてください。

注記

フォーマットを実行すると、そのUSBフラッシュメモリーの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USBフラッシュメモリーには、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用の前にお使いのUSBフラッシュメモリーのライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USBフラッシュメモリー接続時に本体の電源を切るには

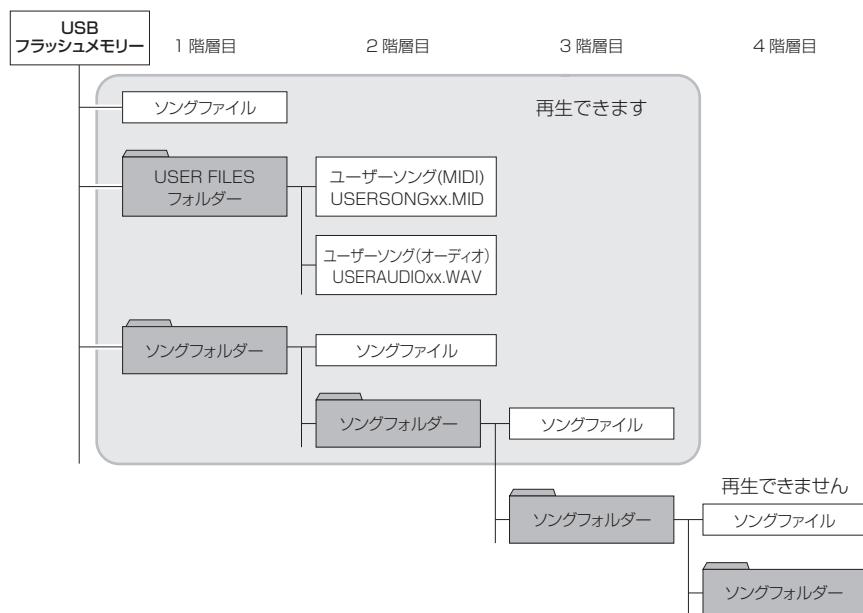
電源を切る場合は、再生/録音やファイル操作(保存/コピーなど)によるUSBフラッシュメモリーへのアクセス中でないことを確認してください。USBフラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。

USBフラッシュメモリー内のファイル管理

この楽器で録音したソングを「ユーザーソング」といい、この楽器以外で作られたソングは「外部ソング」といいます。

USBフラッシュメモリー内では、ユーザーソングは「USER FILES」フォルダー内に保存されます。外部ソングは「USER FILES」フォルダー外に保存します。ただし、ユーザーソングは、コンピューターを使用して、フォルダーネ名を変更したり、「USER FILES」フォルダーの外へ移動したりすると、外部ソングとして扱われます。

コンピューターなどでUSBフラッシュメモリー内のソングファイルを管理する場合、外部ソングのファイルは3階層までに保存してください。これより下の階層のフォルダーに保存されたソングは、この楽器では選択/再生できません。



NOTE

USBフラッシュメモリー内のソングを再生したい場合は「BGM(ソング)を再生する」(23ページ)をご参照ください。

NOTE

USBフラッシュメモリー内のソングを削除する場合は、コンピューターで行なってください。

NOTE

この楽器で再生できる外部ソングのファイルの数は400までです。

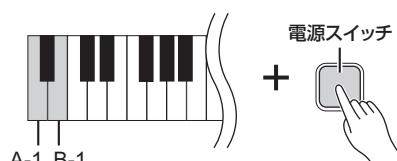
文字種の設定

USBフラッシュメモリーに保存された外部ソングが、この楽器で読み込めない場合は、ファイル名の文字種を切り替えてみてください。

■ 日本語にする

日本語やアルファベットを読み込みます。

A-1鍵盤とB-1鍵盤を押したまま、電源をオンにします。

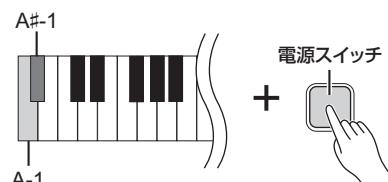


初期設定:
日本語

■ Internationalにする

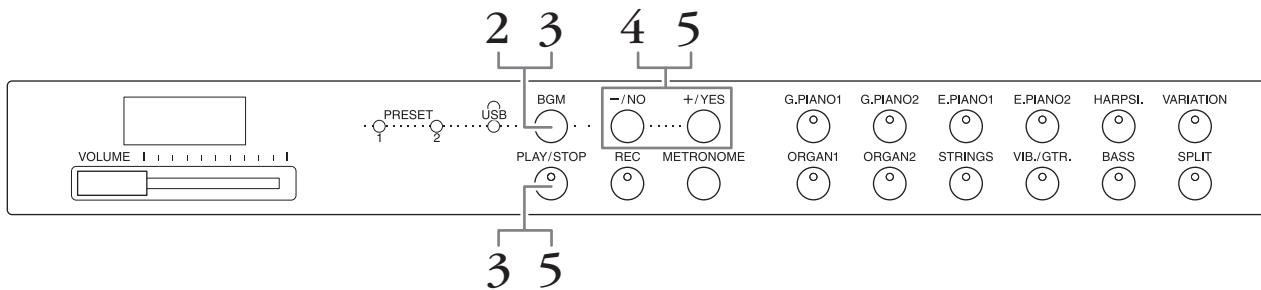
アルファベットを読み込みます(日本語は読み込めません)。

A-1鍵盤とA♯-1鍵盤を押したまま、電源をオンにします。



楽器に録音したユーザーソングをUSBフラッシュメモリーにコピーする

楽器本体に録音したユーザーソング(MIDI)(26ページ)をUSBフラッシュメモリーにコピーします。



1. USBフラッシュメモリーを接続する

2. [BGM]ボタンを押して、[PRESET 1]、[PRESET 2]、
および[USB]のランプをオフにする

3. [BGM]ボタンを押したまま、[PLAY/STOP]ボタンを押す
画面に「CP y」^{プレイ}と表示された後、ソング番号が表示されます。

4. コピー後のデータの保存先(ソング番号)を選ぶ

[-/NO]/[+/YES]ボタンを押して保存先となるソング番号(U.00-U.99)を選びます。すでにデータが録音されているソング番号を選ぶと、「U.X.X.」のように、画面に点(.)が3つ表示されます。上書きする場合は、手順5に進みます。上書きしない場合は、ほかのソング番号を選んでから手順5に進みます。コピーを中止する場合は、[REC]ボタンを押します。

5. [PLAY/STOP]ボタンを押してソングをコピーする

「n y」(no/yes)が表示されるので、[+/YES]ボタンを押します。上書きする場合は、このあとに「n'y」が表示されるので、もう一度[+/YES]ボタンを押します。コピーが終わると、「End」が表示されます。

コピーを中止する場合は、「n y」または「n'y」が表示されたときに、[-/NO]ボタンを押します。(手順4に戻ります。)

ユーザーソングは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーにSMF形式でユーザーソングとして保存され、自動的に「USERSONGxx.MID」(xxは数字)というファイル名が付けられます。

NOTE

画面に「E01」と表示された場合、次の原因が考えられます。確認してみましょう。

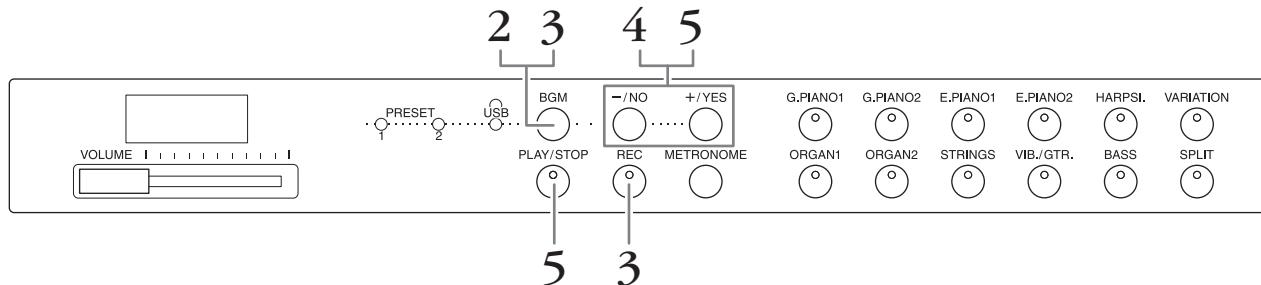
- USBフラッシュメモリーが楽器に接続されていない。
- BGMがオフ(ランプが消えた状態)になっていない。
- ユーザーソングがない。

注記

「-」が流れで表示されているときは、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを取り外したりしないでください。楽器本体/USBフラッシュメモリーのデータが壊れるおそれがあります。

楽器に録音したユーザーソングをオーディオソングに変換する

楽器本体に録音したユーザーソング(MIDI)(26ページ)をオーディオソングに変換して、USBフラッシュメモリーに保存します。



1. USBフラッシュメモリーを接続する

2. [BGM]ボタンを押して、[PRESET 1]、[PRESET 2]、 および[USB]のランプをオフにする

3. [BGM]ボタンを押したまま、[REC]ボタンを押す

画面に「AUD」と表示された後、ソング番号が表示されます。

4. 変換後のデータの保存先(ソング番号)を選ぶ

[-/NO]/[+/YES]ボタンを押して保存先となるオーディオソング番号(A.00～A.99)を選びます。すでにデータが録音されているソング番号を選ぶと、「A.X.X.」のように、画面に点(.)が3つ表示されます。上書きする場合は、手順5に進みます。上書きしない場合は、ほかのソング番号を選んでから手順5に進みます。

オーディオソングへの変換を中止する場合は、[REC]ボタンを押します。

5. [PLAY/STOP]ボタンを押してユーザーソング(MIDI)を再生しながらオーディオに変換する

「n y」(no/yes)が表示されるので、[+/YES]ボタンを押します。上書きする場合は、このあとに「n'y」が表示されるので、もう一度[+/YES]ボタンを押します。

MIDIソングの再生が始まり、同時にオーディオへの変換が始まります。MIDIソングを再生しながら、その音声をオーディオソングとして録音し直すため、ソングの再生が終わるまで待つ必要があります。変換が終わると、「End」が表示されます。

変換を中止する場合は、[PLAY/STOP]ボタンまたは[REC]ボタンを押します。画面には「StP」と表示されます。

オーディオソングは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダーにWAV形式でユーザーソング(オーディオ)として保存され、自動的に「USERAUDIOxx.WAV」(xxは数字)というファイル名が付けられます。

NOTE

オーディオ変換中は、鍵盤を弾いたり、AUX IN端子から入力したりした音も、一緒に録音されます。

NOTE

画面に「E01」と表示された場合、次の原因が考えられます。確認してみましょう。

- USBフラッシュメモリーが楽器に接続されていない。
- BGMがオフ(ランプが消えた状態)になっていない。
- ユーザーソングがない。

注記

途中で変換を中止した場合、それまでのデータは保存されません。

また、上書き保存で変換を始めた場合、元のデータも消えてしまいますのでご注意ください。

注記

「-」が流れで表示されているときは、電源を切ったり、USBフラッシュメモリーを取り外したりしないでください。

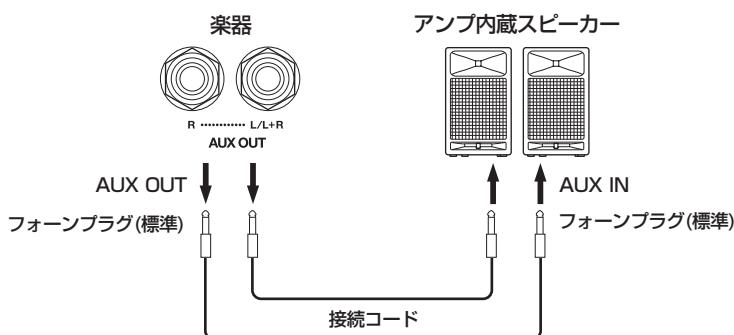
楽器本体/USBフラッシュメモリーのデータが壊れるおそれがあります。



他の機器と接続する

楽器の音を外部スピーカーから出す (AUX OUT [L/L+R][R]端子)

この楽器にアンプ内蔵スピーカーなどを接続して、より大きな音を出します。AUX OUTに出力される音量は、楽器本体の[VOLUME]スライダーで調節します。



注記

楽器や外部機器の損傷を防ぐため、この楽器のAUX OUTを使う場合、電源を入れるときは楽器→外部機器の順に、電源を切るときは、外部機器→楽器の順に行なってください。

NOTE

接続ケーブルおよび接続プラグは抵抗のないものをお使いください。

注記

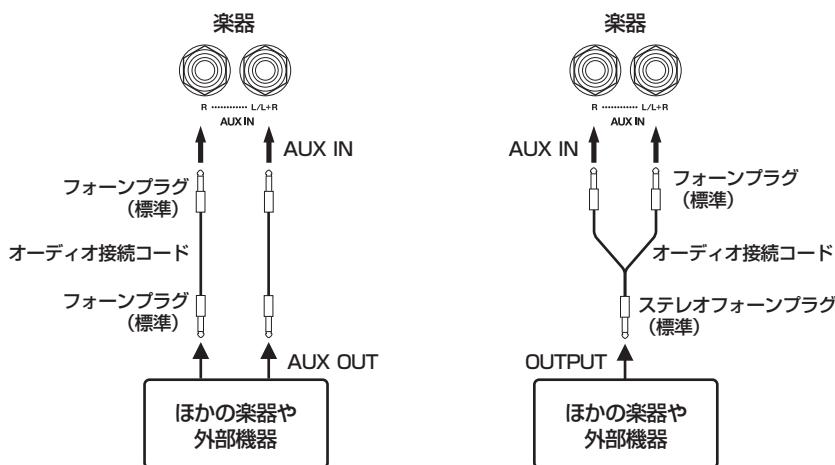
AUX OUTに外部機器を接続した場合、同時に接続先機器の出力端子と本機のAUX IN端子を接続しないでください。オーディオ信号のフィードバック(発振)が起こり、両機器の故障の原因となります。

NOTE

本体音をモノラル信号で取り出すときは、AUX OUT [L/L+R]端子を使ってください。

楽器本体のスピーカーから外部機器の音を出す (AUX IN [L/L+R][R]端子)

ほかの楽器や外部機器の音をこの楽器のスピーカーから出します。



注記

楽器や外部機器の損傷を防ぐため、この楽器のAUX INを使う場合、電源を入れるときは外部機器→楽器の順に、電源を切るときは、楽器→外部機器の順に行なってください。

NOTE

AUX INからの入力音には、リバーブは効きません。

NOTE

モノ入力には、AUX IN [L/L+R]端子をご使用ください。

入力音のノイズをカットする(ノイズゲート)

この楽器では、AUX INに入力した音に対し、余分なノイズをカットしています。しかし、本来ノイズではないピアノの減衰音のような小さな音をノイズとみなしてカットしてしまうことがあります。このような場合は、ノイズゲートをオフに設定してください。

ノイズゲートオン: [BGM]ボタンを押したまま、F6鍵盤を押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

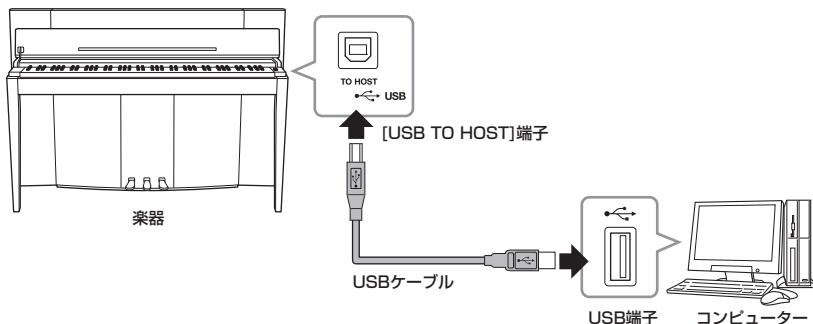
ノイズゲートオフ: [BGM]ボタンを押したまま、F#6鍵盤を押します。
(49ページ クイックオペレーションガイド参照)

初期設定：
オン

コンピューターと接続する([USB TO HOST]端子)

USBケーブルを使って楽器の[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続すると、コンピューターとMIDIデータをやり取りしたり、コンピューター用の音楽ソフトを楽しんだりできます。

コンピューターとの接続方法など、詳しくはウェブサイト上の「コンピューターとつなぐ」をご覧ください。



注記

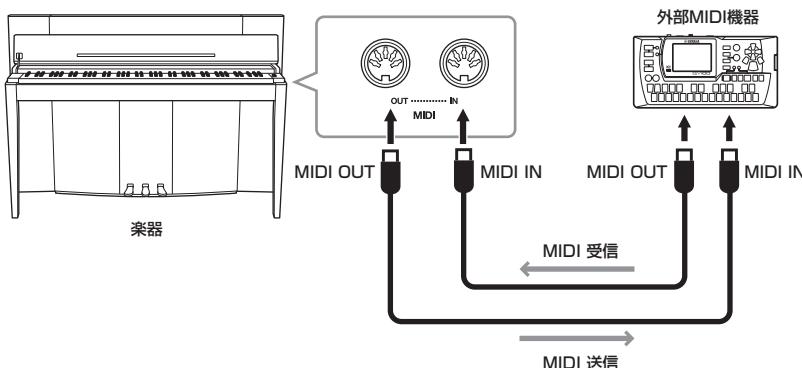
USBケーブルは、ABタイプのものをご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。

外部MIDI機器と接続する(MIDI [IN][OUT]端子)

MIDIケーブルを使って、楽器と外部MIDI機器(キーボード、シンセサイザー、シーケンサーなど)のMIDI端子と接続すると、この楽器から外部MIDI機器をコントロールしたり、外部MIDI機器からこの楽器をコントロールしたりできます。

MIDI [IN] MIDIデータを受信する端子です。

MIDI [OUT] MIDIデータを送信する端子です。



NOTE

MIDIについての基礎知識は、電子マニュアル「MIDI入門」をご覧いただけます。

NOTE

MIDI機器の中でも、機種ごとに送受信できるMIDIデータの内容が同じではないため、接続しているMIDI機器間で共通に扱えるデータだけが送受信できることになります。この楽器で扱えるMIDIデータについては、電子マニュアル「MIDIリファレンス」をご覧ください。

NOTE

ここでMIDIに関する設定は、MIDI端子だけでなく、[USB TO HOST]端子での信号の入出力に対しても有効です。

MIDI送受信チャンネルの設定

MIDI楽器どうして、演奏情報を送受信するためには送信側と受信側でMIDIチャンネル(1～16チャンネル)を合わせておく必要があります。

■ 送信チャンネルを設定する

[BGM]ボタンを押したままC2～E3鍵盤のどれかを押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。

・デュアルのときの第2音色、スプリットのときの左側音色

ここで設定したチャンネルの次のチャンネルで送信されます。第1音色、右側音色は、ここで設定したチャンネルで送信されます。ただし、上記設定チャンネルをオフに設定した場合は送信されません。

■ 受信チャンネルを設定する

[BGM]ボタンを押したままC4～F5鍵盤のどれかを押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。

・ALLの場合

外部MIDI機器から送信されるすべてのチャンネルのデータを、同時に受信します。したがって、シーケンサーなどから送信される複数チャンネルの演奏データを、この楽器で再生できます。

・「1&2」の場合

シーケンサーなどの外部MIDI機器から1、2チャンネルのデータだけ受信し、この楽器で再生します。

選択範囲:

1～16、OFF(送信しない)

初期設定:

1

NOTE

音色デモ曲/ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲のソングデータは、MIDI送信できません。

選択範囲:

ALL、1&2、1～16

初期設定:

ALL

NOTE

この楽器でパネル設定や手弾き音は、送信されてくるプログラムチェンジ(音色切り替え)などから影響を受けません。

ローカルコントロールオン/オフの設定

通常、この楽器で鍵盤を弾いたり、MIDIソングデータを再生したりすると、本体内部の音源から音が出ます。この状態を「ローカルコントロールオン」と呼びます。この楽器での演奏データを外部のMIDI機器へ送信して、楽器からは音を出したくない場合は、「ローカルコントロールをオフ」にします。

■ ローカルコントロールオン/オフを切り替える

[BGM]ボタンを押したままC6鍵盤を押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。C6鍵盤を押すたびにオン/オフが切り替わります。

選択範囲:

オン/オフ

初期設定:

オン

プログラムチェンジ送受信オン/オフの設定

MIDIで送信側の機器から受信側の機器の音色を切り替える情報をプログラムチェンジと言います。たとえば、この楽器からプログラムチェンジを送信すると、接続した外部機器の音色を切り替えることができます。楽器のパネルで音色を切り替えたときに、切り替えた音色のプログラムチェンジナンバーが送信されます。逆に接続した外部機器から送信されたプログラムチェンジを受信すると、同時に受信しているMIDIの演奏データの音色が切り替わります。このとき鍵盤での手弾き音色は切り替わりません。プログラムチェンジの送受信をしたい場合(外部機器と音色切り替えを連動させたい場合)はオンに、送受信したくない場合(外部機器と音色切り替えを連動させたくない場合)はオフにします。

■ プログラムチェンジの送受信オン/オフを切り替える

[BGM]ボタンを押したままC♯6鍵盤を押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。C♯6鍵盤を押すたびにオン/オフが切り替わります。

選択範囲:

オン/オフ

初期設定:

オン

コントロールチェンジ送受信オン/オフの設定

MIDIで送信側の機器から受信側の機器にダンパーペダルの操作やボリュームなどの演奏表現を伝える情報をコントロールチェンジと言います。たとえばこの楽器からからコントロールチェンジを送信すると接続した外部機器の演奏をコントロールすることができます。この楽器でダンパーペダルなどを操作したときにコントロールチェンジが送信されます。逆に接続した外部機器からコントロールチェンジを受信すると、MIDIの演奏にコントロールチェンジの効果が付きます。このとき鍵盤での手弾き音は影響を受けません。コントロールチェンジの送受信をしたい場合はオンに、送受信したくない場合はオフにします。

■ コントロールチェンジの送受信オン/オフを切り替える

[BGM]ボタンを押したままD6鍵盤を押します(49ページ クイックオペレーションガイド参照)。D6鍵盤を押すたびにオン/オフが切り替わります。

NOTE

この楽器が扱えるコントロールチェンジ情報については、電子マニュアル「MIDIリファレンス」を参照してください。

選択範囲:

オン/オフ

初期設定:

オン



バックアップデータと初期化の方法

電源を切ったときに記憶されるバックアップデータ

下記の項目は、電源を切ってもその設定が記憶されます。

- ・メトロノームの音量(16ページ)
- ・メトロノームの拍子(16ページ)
- ・タッチ感度(17ページ)
- ・チューニング(20ページ)
- ・インテリジェント アコースティック コントロール(IAC) のかかり具合(14ページ)
- ・インテリジェント アコースティック コントロール(IAC) のオン/オフ(14ページ)
- ・楽器に保存したユーザーソング(MIDI)(26ページ)
- ・文字種(29ページ)
- ・オーディオ再生音量(25ページ)
- ・ハーフペダルポイント(15ページ)
- ・ストリングレゾナンスのかかり具合(19ページ)
- ・AUX IN ノイズゲート オン/オフ(33ページ)
- ・ソング再生チャンネル(25ページ)
- ・MIDIの各種設定(34、35ページ)

USBフラッシュメモリーにバックアップデータを保存する

上記に列挙したバックアップデータを、USBフラッシュメモリーへ1つのファイル(拡張子:.bup)にまとめて保存できます。逆に、USBフラッシュメモリーに保存したファイルを、楽器に読み込んで、本体設定やソングを再現させることもできます。

バックアップデータの保存

1. USBフラッシュメモリーを接続する
2. [REC]ボタンを押したまま、[VARIATION]ボタンを押す

USBフラッシュメモリーに「FO2.bup」のファイル名で保存されます。
USBフラッシュメモリーに同じ名前のファイルがある場合には、上書きされます。

バックアップデータの読み込み

USBフラッシュメモリーに保存したバックアップデータ(本体設定とユーザーソング)をこの楽器に読み込んで、元に戻します。読み込みが終わると、楽器が自動的に再起動します。

1. USBフラッシュメモリーを接続する
2. [REC]ボタンを押したまま、[SPLIT]ボタンを押す

NOTE

バックアップデータの保存中は、画面に「bUP」と表示されます。

注記

バックアップデータの保存/読み込み中は電源を切らないでください。電源を切ると、データの破損の原因になります。

NOTE

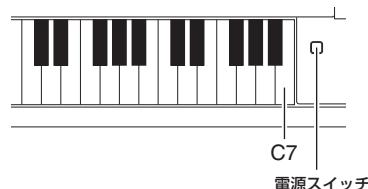
バックアップデータの読み込み中は、画面に「rSt」と表示されます。

注記

コンピューター上でバックアップファイル名を書き換えないでください。楽器に読み込めなくなります。

初期化の方法

右端の白鍵(C7)を押したまま電源スイッチを押して電源を入れます。この操作をすると、本体に記憶されているバックアップデータが消去され、初期設定(工場出荷時の状態)に戻ります。楽器本体に保存したユーザーソングは消去されません。





付録

メッセージ一覧

メッセージ	内容
CLr	楽器を初期設定(工場出荷時の状態)に戻しています。 注記 「CLr」が表示されているときに電源を切らないでください。電源を切ると、すべてのソングデータ(23ページ)が消去されるおそれがあります。
con	楽器をコンピューターなどと接続してアプリケーションソフトを使用しています。このメッセージが表示されているときは、楽器の操作ができません。
EO1	文字種の設定(29ページ)が、選択しようとしているソングのファイル名に合っていません。文字種を切り替えてください。 この楽器では対応していないデータ形式です。または、データに問題があるため選択できません。 USBフラッシュメモリーが見つかりません。または、USBフラッシュメモリーに異常が発生しました。USBフラッシュメモリーを接続し直してから、操作を実行してください。ほかに問題がないのに、このメッセージが繰り返し表示される場合は、USBフラッシュメモリーが壊れている可能性があります。 バックアップデータの読み込みができません。バックアップデータがない、または壊れています。
EO2	USBフラッシュメモリーにプロテクトがかかっています。
EO3	USBフラッシュメモリーのメモリーの空き容量が不足しています。またはファイルやフォルダーの数が制限を超えました。
EO4	オーディオソングの再生や、オーディオソングへの変換に失敗しました。ファイルの保存や削除を繰り返し行なったUSBフラッシュメモリーをお使いの場合は、必要なデータが入っていないのを確認してからコンピューターでフォーマットし、楽器に接続してください。
EEE	本体に異常が発生しました。巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。
End	処理が終わりました。
Enp	楽器本体またはUSBフラッシュメモリーのメモリーの空き容量が少なくなりました。
FCL	処理中に電源を切ったので、楽器本体のメモリーが初期化されました。本体設定や本体に録音/保存したソングのデータが消去されています。 注記 「FCL」が表示されているときに電源を切らないでください。
FUL	楽器本体またはUSBフラッシュメモリーのメモリーの空き容量が不足しているため、データの処理ができませんでした。録音中にこのメッセージが表示されたときは、演奏データが正しく保存されない場合があります。
n y	操作を実行しますか？
n-y	データの上書きや削除を実行しますか？
Pro	USBフラッシュメモリーのファイルが、読み取り専用となっています。コンピューターで読み取り専用を解除してからお使いください。
StP	オーディオソングへの変換を中止しました。
UnF	フォーマットされていないUSBフラッシュメモリーが接続されています。必要なデータが入っていないのを確認してからコンピューターでフォーマットしてください。
Uoc	USBフラッシュメモリーに過電流が流れたため、USBフラッシュメモリーとの通信を停止しました。USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子から抜き、本体の電源を入れ直してください。
UU1	USBフラッシュメモリーと通信できません。USBフラッシュメモリーを接続し直してください。正しく接続してもこのメッセージが表示される場合は、USBフラッシュメモリーが壊れている可能性があります。
UU2	このUSBフラッシュメモリーは、この楽器では使えません。または、接続できるUSBフラッシュメモリーの数が制限を超えました。「USBフラッシュメモリーの取り扱いについて」(28ページ)をご参照ください。

メッセージを消すには、[-/NO]ボタンを押してください。

困ったときは

現象	考えられる原因と解決法
本体の電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません。電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(13ページ)。
電源スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	電気が流れたためです。故障ではありません。
本体から雑音が出る。	本体の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。本体の近くでは、携帯電話の電源を切ってください。
iPhone/iPadのアプリケーションと楽器と一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音(ノイズ)が出る。	iPhone/iPadのアプリケーションと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためiPhone/iPadの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
	楽器全体の音量が下がっています。[VOLUME]スライダーで音量を上げてください(14ページ)。
	ヘッドフォンを接続しています。ヘッドフォンのプラグを抜いてください(13ページ)。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	ローカルコントロールがオフになっています。ローカルコントロールをオンしてください(34ページ)。
	ダンパーペダルが思ったように効かない。
	ペダルを踏んだまま電源を入れたためです。故障ではありません。ペダルから足を離し、再度踏み直すことで正常になります。
特定の音域でピアノ音色の音の高さ、音質がおかしい。	ピアノ音色では、ピアノ本来の音ができる限り忠実に再現しようとしています。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
AUX IN端子から入力した音が途切れる。	AUX INに接続した機器の音量(出力レベル)が小さく、ノイズゲートで入力音がカットされるためです。 AUX INに接続した機器側の音量(出力レベル)を上げてください。楽器本体から出す音量の調節は、[VOLUME]スライダーで行なってください。また、ノイズゲートをオフに設定してください(33ページ)。
USBフラッシュメモリーがフリーズする、または動作しない。	メッセージが表示された場合は、メッセージ一覧(37ページ)をご確認ください。メッセージが表示されない場合は、USBフラッシュメモリーが壊れている可能性があります。

ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲一覧

[PRESET 1](Classic)

ソング No.	ソング名(作曲者)	シーン No.		シーンタイトル											バロック古典ロマン派前期	ロマン派前期(ショパン)	ロマン派後期	フランス近代
		1 ホームパーティ	2 目覚め	3 喜び	4 優雅	5 くつろぎ	6 おやすみ	7 哀しみ	8 ロマンス	9 メルヘン	10 バロック古典ロマン派前期	11 ロマン派前期(ショパン)	12 ロマン派後期	13 フランス近代				
1	ソナタ K.380, L.23 (D. スカルラッティ)	1									1							
2	ゴルトベルク変奏曲 アリア BWV.988 (J. S. バッハ)						1	1				2						
3	ピアノ ソナタ 第5番 第1楽章 K.283 (W. A. モーツアルト)	2	1									3						
4	ピアノ ソナタ 第12番 第1楽章 K.332 (W. A. モーツアルト)	1	3	2								4						
5	ピアノ ソナタ 第14番 「月光」第1楽章 op.27-2 (L. v. ベートーヴェン)	2							1			5						
6	春の歌 op.62-6 (F. メンデルスゾーン)	3			1							6						
7	練習曲 「別れの曲」op.10-3 (F. F. ショパン)	4							2	1		1						
8	練習曲 「エオリアンハープ」op.25-1 (F. F. ショパン)	5		3						2			2					
9	ワルツ 第7番 op.64-2 (F. F. ショパン)										3			3				
10	ワルツ 第10番 op.69-2 (F. F. ショパン)										4			4				
11	夜想曲 第1番 op.9-1 (F. F. ショパン)									5	3		5					
12	夜想曲 第2番 op.9-2 (F. F. ショパン)	6			2	2				4		6						
13	子供の情景 トロイメライ op.15-7 (R. シューマン)	7				3	2				1	7						
14	コンソレーション 第3番 (F. リスト)					4			5					1				
15	ヘ調のメロディ op.3-1 (A. ルビンシュテイン)	8			3									2				
16	ユモレスク op.101-7 (A. ドヴォルジャーク)	9			4							2		3				
17	抒情小品集 第1集 アリエッタ op.12-1 (E. H. グリーグ)	10				5	3			3			4		4			
18	無言歌 op.17-3 (G. フォーレ)					5								1				
19	愛のあいさつ op.12 (E. エルガー)	11	4	4	6								5					
20	森のスケッチ 野ばらに寄す op.51-1 (E. A. マクダウェル)						6	4			4		6					
21	スペイン タンゴ op.165-2 (I. アルペニス)	12		5	7									7				
22	亜麻色の髪の乙女 (C. A. ドビュッシー)	13				7	5							2				
23	アラベスク 第1番 (C. A. ドビュッシー)	14			8									3				
24	月の光 (C. A. ドビュッシー)	15				8								4				
25	夢想 (C. A. ドビュッシー)						9	6						5				
26	ジムノペディ 第1番 (E. サティ)						10	7						6				
27	ジュ トゥ ヴ (E. サティ)	16		6	9									7				
28	亡き王女のためのパヴァーヌ (M. ラヴェル)	17			11		6							8				
29	クーブランの墓 メヌエット (M. ラヴェル)	18				12								9				
30	ボロディン風に (M. ラヴェル)					10								10				

- ・シーンタイトルの下の数字は、各シーンでの曲順を示します。
- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

[PRESET 2](Jazz曲)

ソング No.	ソング名(作曲者)	シーン No.		シーンタイトル									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
1	Alfie (B. Bacharach) *	1		1							1		
2	Besame Mucho (C. Velazquez) *				1				1		1		
3	Bewitched (R. Rodgers)			2			1		2		2		
4	Emily (J. Mandel) *	2	1	3				1		2			
5	Hey Jude (J. Lennon & P. McCartney) *	3	2							3			
6	How Deep Is the Ocean (I. Berlin) *				2			2					
7	I Didn't Know What Time It Was (R. Rodgers) *		3		3			3					
8	If I Should Lose You (L. Robin & R. Rainger)				4			4					
9	It Might As Well Be Spring (R. Rodgers) *	4	4	4				5		3			
10	It Never Entered My Mind (R. Rodgers)				5		2		4				
11	Mona Lisa (J. Livingston & R. Evans) *	5		5	6	1	3		5	4	3		
12	My Funny Valentine (R. Rodgers) *					2					4		
13	Never Let Me Go (J. Livingston & R. Evans) *					3			6		5		
14	Norwegian Wood (J. Lennon & P. McCartney) *	6		6					7	5			
15	On Green Dolphin Street (N. Washington & B. Kaper) *	7	5					6					
16	Over the Rainbow (H. Arlen) *	8				4	4		8	6			
17	Smoke Gets in Your Eyes (J. Kern) *	9			7	5	5		9				
18	Stella by Starlight (V. Young) *	10	6		8	6		7					
19	The Nearness of You (H. Carmichael) *	11			9	7	6		10		6		
20	You Are Too Beautiful (R. Rodgers)			7	10		7				7		

*演奏: 福田重男

- ・シーンタイトルの下の数字は、各シーンでの曲順を示します。
- ・内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

音色デモ曲一覧

音色名	曲名	作曲者
G.PIANO 1	ワルツ 第2番 「華麗なるワルツ」	F. F. ショパン
HARPSI.	チェンバロ協奏曲 第7番 BWV.1058	J. S. バッハ
ORGAN 1	オルガン小曲集 「神のひとり子なる主キリスト」 BWV.601	J. S. バッハ

上記デモ曲は、原曲を編集/抜粋したものです。その他のデモ曲は、ヤマハのオリジナルです。(© 2013 Yamaha Corporation)

音色一覧

音色名	タッチによる 音の強弱	ステレオ サンプリング	キーオフ サンプリング	サステイン サンプリング	ストリング レゾナンス	音色紹介
G.PIANO 1 (グランドピアノ1)	○	○	○	○	○	コンサートグランドピアノからサンプリングされたこの音色は、弱いタッチから強いタッチまでのなめらかな音色変化が表現できます。また、ダンパー・ペダル使用時のペダル位置による音色変化、鍵盤を離したタイミングによる微妙な発音など、さまざまな要素においてアコースティックピアノに極限まで近づけたぜいたくな音作りです。また、生ピアノ独特の、弦どうしの共鳴（ストリングレゾナンス）も再現しました。クラシックはもちろん、どんなジャンルのピアノ曲にも合います。
バリエーション	○	○	○	—	○	アタック感がない、メローなピアノの音です。静かにゆったりとした音楽に最適です。
G.PIANO 2 (グランドピアノ2)	○	○	—	—	—	明るい響きを持った広がりあるクリアなピアノの音です。ポピュラー音楽に最適です。
バリエーション	○	○	○	○	○	ライトなピアノの音です。クリアに音を目立たせたい曲に最適です。
E.PIANO 1 (エレクトリック ピアノ1)	○	—	—	—	—	FMシンセサイザーによる電子ピアノの音です。タッチの強弱に応じて音色の変化も楽しめます。ポピュラー音楽に最適です。
バリエーション	○	—	—	—	—	ポピュラー音楽でよく耳にするシンセサイザーによる電子ピアノの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
E.PIANO 2 (エレクトリック ピアノ2)	○	—	○	—	—	金属片をハンマーでたたいて発音させる電気ピアノの音です。弱く弾いたときは柔らかく、強く弾くと芯のある音がします。
バリエーション	○	—	—	—	—	異なるタイプの電気ピアノの音です。ロック、ポピュラー音楽によく使われています。
HARPSI. (ハープシコード)	—	○	○	—	—	バロック音楽でよく使われる楽器の音です。タッチによって音量は変わらず、鍵盤を離したときには独特の発音があります。
バリエーション	—	○	○	—	—	オクターブ上の音がミックスされたハープシコードの音です。より華やかさを感じられます。
ORGAN 1 (オルガン1)	—	○	—	—	—	パイプオルガンのプリンシパル系(金管楽器系)の混合音栓の音(8フィート+4フィート+2フィート)です。バロック時代の教会音楽の演奏に適しています。
バリエーション	—	○	—	—	—	バッハの「トッカータとフーガ」で有名なパイプオルガンのフルカッラーの音です。
ORGAN 2 (オルガン2)	—	—	—	—	—	歯車回転式電気オルガンの音です。ジャズ、ロックなどの音楽でよく用いられます。左ペダルの操作で、エフェクト「ROTARY SP」(回転スピーカー)の回転の速い/遅いを切り替えられます。
バリエーション	—	—	—	—	—	アタックを取り除いた歯車回転式電気オルガンの音です。曲調によってノーマル音と使い分けて演奏をお楽しみください。左ペダルの操作で、エフェクト「ROTARY SP」(回転スピーカー)の回転の速い/遅いを切り替えられます。
STRINGS (ストリングス)	○	○	—	—	—	ステレオサンプリングでリアルな響きがする大編成弦楽アンサンブルの音です。ピアノとのデュアルでも楽しめます。
バリエーション	○	○	—	—	—	立ち上がりの緩やかな広がりある弦楽アンサンブルの音です。ピアノや電子ピアノとのデュアルに向いています。
VIB./GTR. (ビブラフォン/ギター)	○	○	—	—	—	比較的柔らかなマレットでたたいたビブラフォンの音です。強く弾くほど金属的な音になります。
バリエーション	○	—	—	—	—	温かみのあるナチュラルなナイロンギターの音です。静かな曲で雰囲気を楽しんでください。
BASS (ベース)	○	—	—	—	—	アップライトベースを指で弾く奏法の音です。ジャズやラテン音楽などによく用いられます。
バリエーション	○	—	—	—	—	エレクトリックベースの音です。ジャズ、ロック、ポピュラーなどの音楽によく用いられます。

キーオフサンプリングとは

鍵盤を離したときの微妙な発音をサンプリングしたもので

サステインサンプリングとは

ダンパー・ペダルを踏んだときの音をサンプリングしたもので

ストリングレゾナンスとは

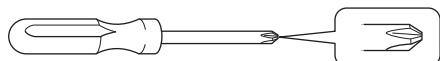
弦の共鳴音をシミュレーションしたもので

組み立て方

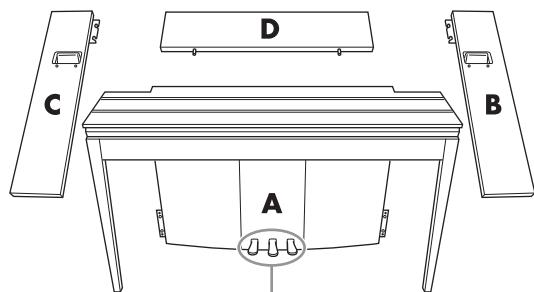
△ 注意

- 硬くて平らな場所で組み立ててください。
- 部品をまちがえたり、向きをまちがないように注意して、手順どおりに組み立ててください。
- 組み立ては、必ず2人以上で行なってください。
- ネジは付属の指定サイズ以外のものは使用しないでください。サイズの違うネジを使用すると、製品の破損や故障の原因になることがあります。
- ネジは各ユニット固定後、ゆるみがないようきつく締め直してください。
- 解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。

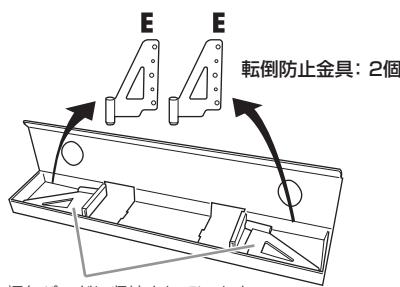
ネジのサイズに合ったプラス(+)のドライバーを用意してください。



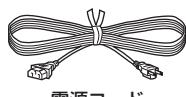
すべての部品を取り出し、部品がそろっていることを確かめてください。B、C、Dは別の梱包箱に入っています。



ペダルには、工場出荷時にビニール袋をかぶせてあります。ペダル効果を最大にするため、ビニール袋を外してください。



梱包パッドに収納されています。



電源コード



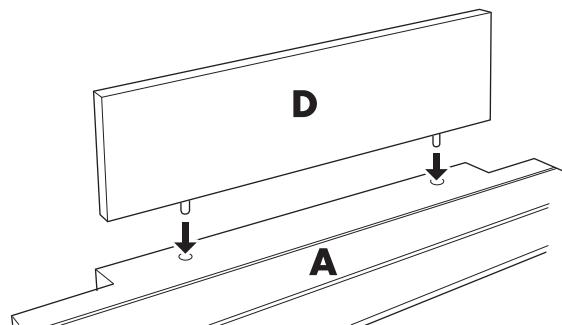
ネジセット

長いネジ(6×45mm): 4本

短いネジ(6×14mm): 12本

1. Dを差し込む

Dの金具が付いていない面を鍵盤側に向け、図のように突起をA上面の穴に差し込みます。

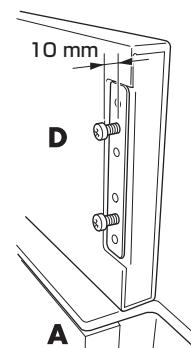


△ 注意

DがAに差し込まれた状態で、Dに前後から力をかけないでください。Dに付いている突起が折れてDが落下し、破損するおそれがあります。

2. B、Cを取り付ける

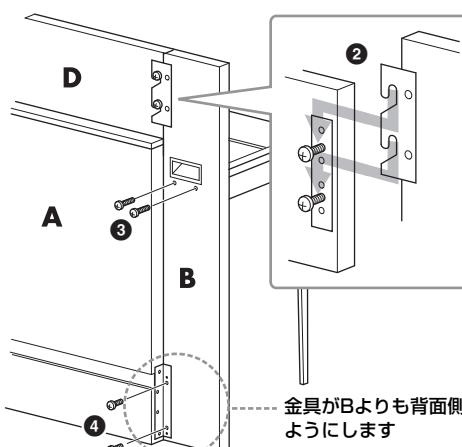
① Dの裏面両端に短いネジ(6×14 mm) 2本ずつを、ネジがネジ穴から10ミリほど突き出るように軽く締めます。このとき、ネジが簡単に外れないように確認します。



② ①で軽く締めたネジが緩んでいないのを確認してから、Bの取っ手を背面側に向け、Bの金具を図②のように溝に合わせてネジに差し込みます。このとき、金具でDを傷つけないように注意します。

③ AとBの取っ手の下にある穴を、長いネジ(6×45 mm) 2本で軽く締めます。

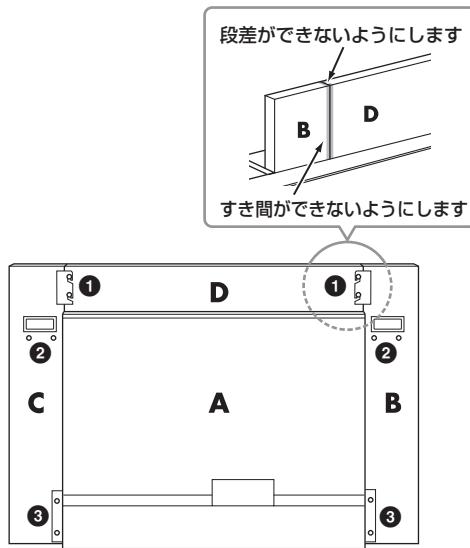
④ A下側の金具とBを短いネジ(6×14 mm) 2本で軽く締めます。



⑤ Cも同様に取り付けます。

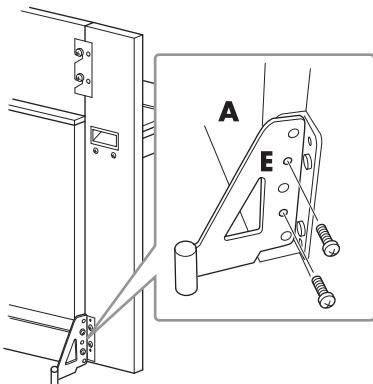
3. B、C、Dを固定する

DとB、Cの上面に段差がないように、また前面にすき間がないように注意して図の順でネジをきつく締めます。



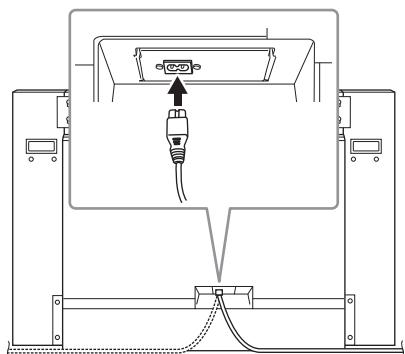
4. E(転倒防止金具)を固定する

A裏板の側面にある金具の穴とEの上から2、4番めの穴を、図のように短いネジ(6×14 mm) 2本で固定します。



5. 電源コードを接続する

A背面にあるAC IN端子に、電源コードのプラグを差し込みます。



組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

■ 部品が余っていませんか？

→ 組み立て手順を再確認してください。

■ 部屋のドアなどがこの楽器にあたりませんか？

→ この楽器を移動してください。

■ この楽器がぐらぐらしませんか？

→ ネジを確実に締めてください。

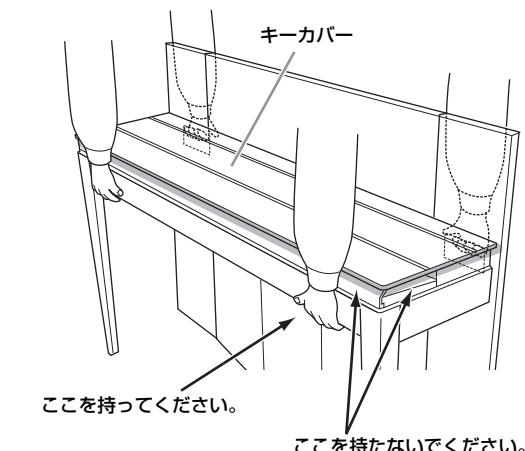
→ 転倒防止金具を確実に取り付けてください。

■ 電源コードのプラグが、確実に本体に差し込まれていますか？

→ 確認してください。

⚠ 注意

組み立て後、本体を移動するときは、必ず背面の取っ手と底面を持ってください。キーカバーを持たないでください。本体が破損したり、お客様かけがをしたりする原因になります。



⚠ 注意

使用中に本体がきしむ、横ゆれする、ぐらつくなどの症状が出たら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

仕様

サイズ/質量	幅	1,427mm	
	高さ	995mm	
	奥行き 転倒防止金具を含む場合	400mm	
		480mm	
	質量	78kg	
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	ナチュラルウッド(NW)鍵盤象牙調仕上げ
		88鍵リニアグレードハンマー	○
		タッチ感度	ハード、ミディアム、ソフト、フィックス
	ペダル	ペダル数	3
		ハーフペダル	○
		GPレスポンスダンパーペダル	○
		ペダル機能	ダンパー、ソステヌート、ソフト
本体	譜面立て	○	
音源/音色	音源	ピアノ音	リアルグランドエクスプレッション(RGE)音源
	ピアノ音源の効果	サステインサンプリング	○
		キーオフサンプリング	○
		ストリングレゾナンス	○
		スムースリリース	○
		ダンバーレゾナンス	○
	発音数	最大同時発音数	256
	プリセット	音色数	10×2 バリエーション
効果	タイプ	リバーブ	4タイプ
録音/再生(MIDIソング)	プリセット	内蔵曲数	ピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲 音色デモ曲 10曲
	録音	録音曲数	1
		トラック数	1
		データ容量(最大)	約400KB/曲
	互換性	録音フォーマット	SMF (Format 0)
		再生フォーマット	SMF (Format 0 & 1)
録音/再生(オーディオソング)	時間	80分/曲(最長)	
	フォーマット	.wav (サンプリング周波数44.1kHz、 量子化ビット数16bit、stereo)	
ファンクション	デュアル	○	
	スプリット	○	
	メトロノーム	○	
	テンポ	5~500	
	トランスポーズ	-6~0~+6	
	チューニング	414.8~440~466.8 Hz	
	インテリジェント アコースティック コントロール	○	

メモリー / 接続端子	メモリー	外付けドライブ	USBフラッシュメモリー(別売)
	接続端子	ヘッドフォン	×2
		MIDI	IN/OUT
		AUX IN	L/L+R、R
		AUX OUT	L/L+R、R
		USB TO DEVICE	○
		USB TO HOST	○
音響	アンプ出力	45W×2	
	スピーカー	16cm×2、5cm×2	
	アコースティック オプティマイザー	○	
定格電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力		45W	
付属品		取扱説明書(本書)、 保証書、 ユーザー登録のご案内、 電源コード、 イス	
別売品	ヘッドフォン	HPE-160	
	iPhone/iPod touch/iPad用 MIDIインターフェース	i-MX1	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

B

- BGM 23
BGMオフ 23

G

- GPレスポンスダンパーペダル 15

M

- MIDI 33
MIDI送受信チャンネル 34
MIDIソング 23
MIDI入門 2
MIDIリファレンス 2

U

- USBフラッシュメモリー 23, 25, 28

I

- インテリジェント アコースティック コントロール(IAC) 14

O

- オーディオソング 23, 31
オーディオ変換 31
オクターブシフト(スプリット) 22
オクターブシフト(デュアル) 21
お手入れ 8
音色 18
音色一覧 41
音色デモ曲 18
音色デモ曲一覧 40
音量(オーディオソング) 25
音量(ボリューム) 14
音量(メトロノーム) 16

A

- 外部ソング 23, 29
画面 10

K

- キー(調) 20
キーカバー 12

C

- クイックオペレーションガイド 49
組み立て方 42
- コピー 30
困ったときは 38
コントロールチェンジ 35
コンピューター 33
コンピューターとつなぐ 2

S

- 削除(本体に録音した演奏) 27

シ

- シーン 24
仕様 44
初期化 36

ス

- ストリングレゾナンス 19
スプリット 22

セ

- 接続 32

ソ

- ソング 23
ソング再生チャンネル 25

タ

- タッチ感度 17
ダンパーペダルの有効域 22
ダンパレゾナンス 15

チ

- チューニング 20
調律 8

テ

- デュアル 21
電源 13
テンポ 16

ト

- トランスポーズ 20

ノ

- ノイズゲート 33

ハ

- ハーフペダル 15
バックアップ 36
バリエーション 18

ヒ

- ピアノリスニングソング(Classic&Jazz)
50曲 23
ピアノリスニングソング(Classic&Jazz)
50曲一覧 39
拍子 16

フ

- 付属品 2
譜面立て 12
プログラムチェンジ 34

ヘ

- ペダル 15
ヘッドフォン 13

メ

- メッセージ 37
メトロノーム 16

モ

- 文字種 29

ユ

- ユーザーソング 23, 26, 30, 31

リ

- リバーブ 19

ロ

- ローカルコントロール 34
録音 26

下記は、この楽器に入っているピアノ リスニング ソング(Classic&Jazz) 50曲のうちの17曲の題名、作者名、著作権情報です。

Alfie

Theme from the Paramount Picture ALFIE
Words by Hal David
Music by Burt Bacharach
Copyright © 1966 (Renewed 1994) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

Bésame Mucho (Kiss Me Much)

Music and Spanish Words by Consuelo Velazquez
English Words by Sunny Skylar
Copyright © 1941, 1943 by Promotora Hispano Americana de Musica, S.A.
Copyrights Renewed
All Rights Administered by Peer International Corporation
International Copyright Secured All Rights Reserved

Bewitched

from PAL JOEY
Words by Lorenz Hart
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1941 (Renewed) by Chappell & Co.
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by
Williamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart
International Copyright Secured All Rights Reserved

Hey Jude

Words and Music by John Lennon and Paul McCartney
Copyright © 1968 Sony/ATV Songs LLC
Copyright Renewed
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music Square
West, Nashville, TN 37203
International Copyright Secured All Rights Reserved

How Deep Is The Ocean (How High Is The Sky)

Words and Music by Irving Berlin
Copyright © 1932 by Irving Berlin
Copyright Renewed
International Copyright Secured All Rights Reserved

I Didn't Know What Time It Was

from TOO MANY GIRLS
Words by Lorenz Hart
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1939 (Renewed) by Chappell & Co.
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by
Williamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart
International Copyright Secured All Rights Reserved

If I Should Lose You

from the Paramount Picture ROSE OF THE RANCHO
Words and Music by Leo Robin and Ralph Rainger
Copyright © 1935 (Renewed 1962) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

It Might As Well Be Spring

from STATE FAIR
Lyrics by Oscar Hammerstein II
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1945 by WILLIAMSON MUSIC
Copyright Renewed
International Copyright Secured All Rights Reserved

It Never Entered My Mind

from HIGHER AND HIGHER
Words by Lorenz Hart
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1940 (Renewed) by Chappell & Co.
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by
Williamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart
International Copyright Secured All Rights Reserved

Mona Lisa

from the Paramount Picture CAPTAIN CAREY, U.S.A.
Words and Music by Jay Livingston and Ray Evans
Copyright © 1949 (Renewed 1976) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

My Funny Valentine

from BABES IN ARMS
Words by Lorenz Hart
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1937 (Renewed) by Chappell & Co.
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by
Williamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart
International Copyright Secured All Rights Reserved

The Nearness Of You

from the Paramount Picture ROMANCE IN THE DARK
Words by Ned Washington
Music by Hoagy Carmichael
Copyright © 1937, 1940 (Renewed 1964, 1967) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

Never Let Me Go

from the Paramount Picture THE SCARLET HOUR
Words and Music by Jay Livingston and Ray Evans
Copyright © 1956 (Renewed 1984) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

Norwegian Wood (This Bird Has Flown)

Words and Music by John Lennon and Paul McCartney
Copyright © 1965 Sony/ATV Songs LLC
Copyright Renewed
All Rights Administered by Sony/ATV Music Publishing, 8 Music Square
West, Nashville, TN 37203
International Copyright Secured All Rights Reserved

Smoke Gets In Your Eyes

from ROBERTA
Words by Otto Harbach
Music by Jerome Kern
Copyright © 1933 UNIVERSAL - POLYGRAM INTERNATIONAL
PUBLISHING, INC.
Copyright Renewed
All Rights Reserved Used by Permission

Stella By Starlight

from the Paramount Picture THE UNINVITED
Words by Ned Washington
Music by Victor Young
Copyright © 1946 (Renewed 1973, 1974) by Famous Music LLC
International Copyright Secured All Rights Reserved

You Are Too Beautiful

from HALLELUJAH, I'M A BUM
Words by Lorenz Hart
Music by Richard Rodgers
Copyright © 1932 (Renewed) by Chappell & Co.
Rights for the Extended Renewal Term in the U.S. Controlled by
Williamson Music and WB Music Corp. o/b/o The Estate Of Lorenz Hart
International Copyright Secured All Rights Reserved

下記は、この楽器に入っているピアノリスニングソング(Classic&Jazz) 50曲のうちの3曲の題名、作者名、著作権情報です。

Composition Title: ON GREEN DOLPHIN STREET
Composer's Name: Bronislaw Kaper 0372642
Owner's Name: EMI MUSIC PUBLISHING LTD

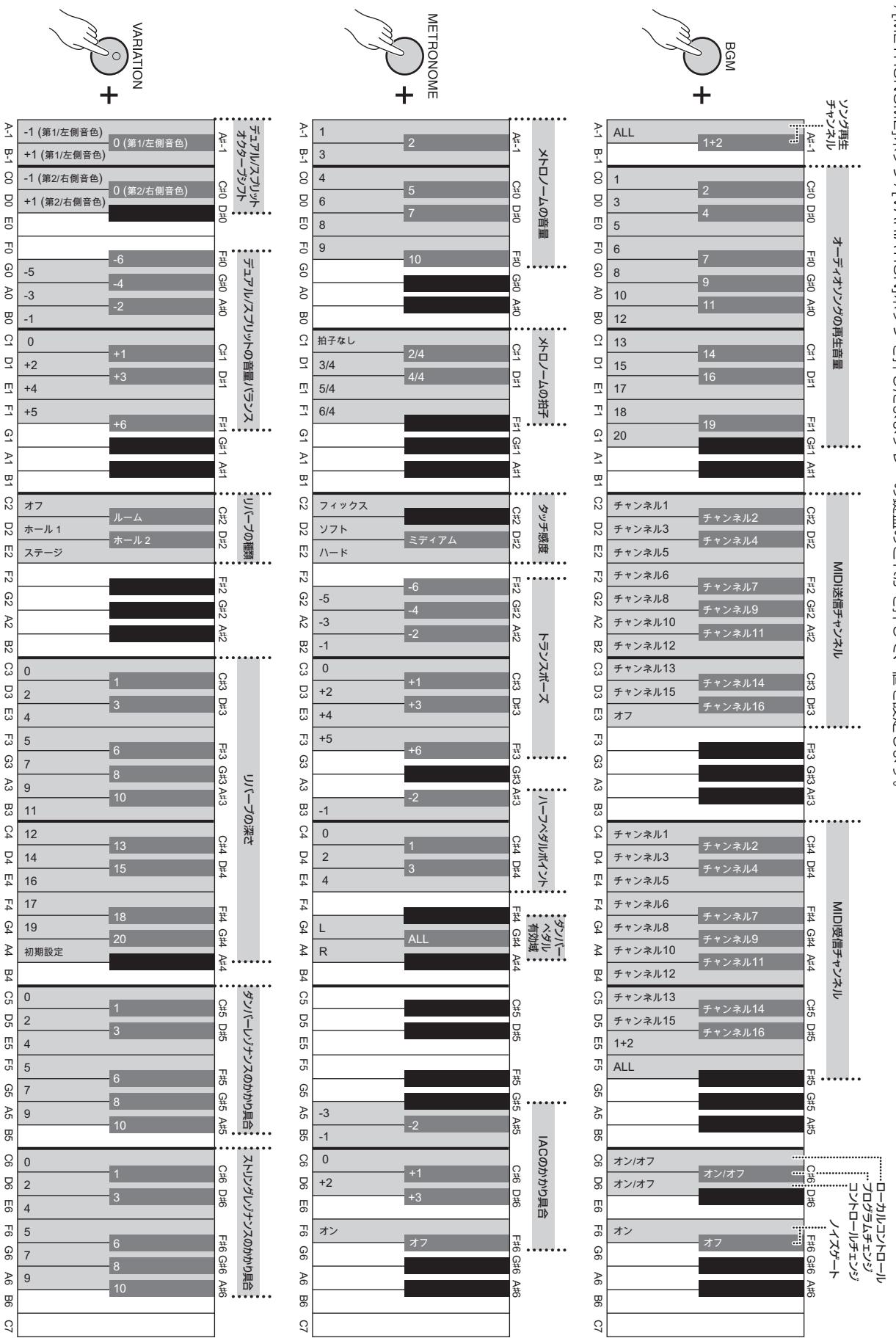
Composition Title: EMILY
Composer's Name: Johnny Mandel 0258202
Owner's Name: EMI MUSIC PUBLISHING LTD

Composition Title : OVER THE RAINBOW
Composer's Name: Harold Arlen 0286708
Owner's Name: EMI MUSIC PUBLISHING LTD

All Rights Reserved, Unauthorized copying, public performance and broadcasting are strictly prohibited.

クイックオペレーションガイド

[BGM]ボタン/[METRONOME]ボタン/[VARIATION]ボタンを押したままグレーの鍵盤のどれかを押して、値を設定します



MEMO

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡しますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドームパットなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへ修理をお申し付けください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などをあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

市内通話料でOK
ナビダイヤル® ※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:00、
土曜日 9:00～17:00
(祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越)

03-5762-2125

西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸)
06-6465-0367

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45
(祝日および弊社休業日を除く)

* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006

東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラックターミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024

大阪市此花区島屋6丁目2-82

ユニバーサル・シティ和幸ビル9F

FAX 06-6465-0374

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

- 電子ピアノの機能や取り扱いについては、ご購入の特約店または下記
ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

**お客様コミュニケーションセンター
電子ピアノ・キーボードご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)  **0570-006-808**

市内通話料でOK
ナビダイヤル® ※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は **TEL 053-460-5272**

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00

(祝日およびセンター指定休日を除く)

[http://jp.yamaha.com/support/](http://jp.yamaha.com/support)

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ
<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハ ピアノ・鍵盤楽器サイト
<http://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハ ダウンロード
<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハ 音楽データショップ
<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

ヤマハ株式会社

デジタル楽器事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。

U.R.G., Digital Musical Instruments Division
© 2012 Yamaha Corporation

211MWTO-A1
Printed in Japan

ZE58160